



長崎市公共施設マネジメント 小島・大浦・梅香崎地区計画



長崎市 令和5年2月
(令和5年4月改訂)

【目次】

1	小島・大浦・梅香崎地区の特性	1
2	小島・大浦・梅香崎地区の将来推計人口	1
3	小島・大浦・梅香崎地区の公共施設配置図	3
4	小島・大浦・梅香崎地区の公共施設の情報	4
5	将来の方向性	8
(1)	市民利用型施設	9
①	博物館（十善寺地区まちづくり情報センター・蔵の資料館、長崎（小島）養生所跡資料館）	9
②	文化財（グラバー園、南山手8番館（南山手地区町並み保存センター）、南山手乙9番館（須加五々道美術館）、南山手乙27番館（南山手レストハウス）、旧香港上海銀行長崎支店、旧長崎税関下り松派出所（べっ甲工芸館）、東山手洋風住宅群（東山手地区町並み保存センター・地球館）A～C棟、東山手洋風住宅群（古写真・埋蔵資料館）D～G棟、東山手十二番館、中の茶屋（清水崑展示館）、旧長崎英国領事館、東山手甲十三番館、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム、天后堂、観音堂、土神堂、旧杠葉本館、旧杠葉氏宅）	12
③	コミュニティ活動施設（小島地区ふれあいセンター、仁田佐古地区ふれあいセンター、南公民館、大浦地区ふれあいセンター、老人憩の家つばき荘、大浦児童センター）	20
④	学校（小島小学校、愛宕小学校、仁田佐古小学校、大浦小学校、小島中学校、大浦中学校、梅香崎中学校）	30
⑤	放課後児童クラブ（元気っ子クラブ、さくらんぼクラブ、ゆうゆうクラブ）	33
⑥	子育て関連施設（梅香崎地区子育て支援センター「ひなたぼっこ」）	37
⑦	保育所・幼稚園（緑ヶ丘保育所、仁田保育所）	39
(2)	都市基盤施設	42
①	市営駐車場（松が枝町駐車場、松が枝町第2駐車場、新地町二輪車等駐車場、東山町二輪車等駐車場、東山町第2二輪車等駐車場）	42
②	市営住宅（十善寺住宅、二本松住宅）	46
(3)	公用施設	49
①	消防施設（中央消防署松が枝出張所、中央消防署小島出張所）	49
②	その他事務所（埋蔵文化財整理所）	52
(4)	公園施設	54
①	公園施設（総合公園、近隣公園、街区公園）	54
6	地区計画のロードマップ（再掲）	57
参考	市民対話の実施	59

1 小島・大浦・梅香崎地区の特性

小島・大浦・梅香崎地区は長崎港の東岸に位置し、背後には丘陵が迫り、まとまった平坦地が少ない地形となっています。

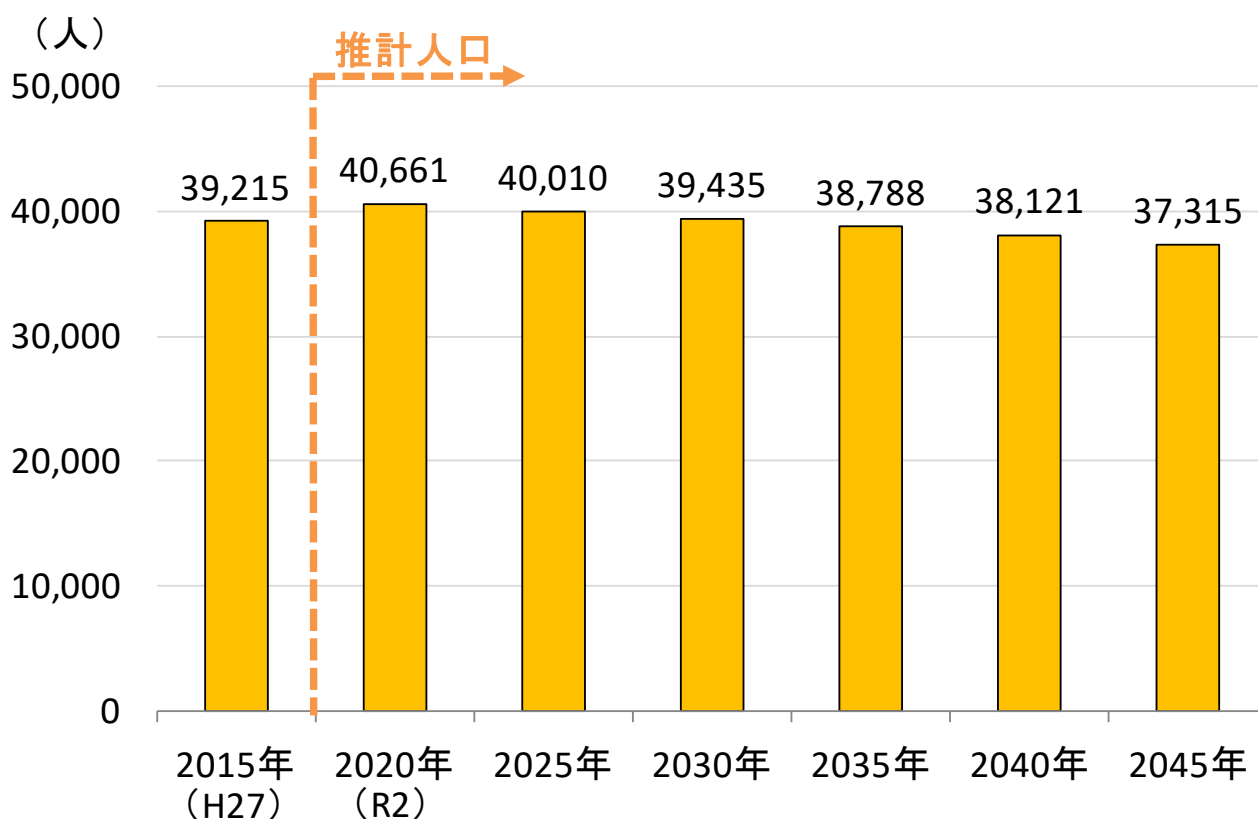
元禄2年（1689年）に唐人屋敷が開かれたことに始まり、東山手、南山手一帯が外国人居留地に指定されました。更に、2つの世界遺産に係る構成資産である国宝大浦天主堂や重要文化財旧グラバー住宅を有し、地区内には多くの洋館や石畳み等の歴史的建造物があり、長崎市観光の拠点となっています。

斜面地や高台には市街地が形成され、良好な眺望空間を有し、歴史的観光施設や教育施設が集積しており、長崎市を代表する特色ある市街地景観を形成しています。

また、クルーズ船岸壁や旅客ターミナルが立地する『海の国際玄関口』である松が枝ふ頭は、近年のクルーズ船の大型化や寄港需要の増加に対応するため、現在、松が枝岸壁2バース化事業に県とともに取り組んでいます。

2 小島・大浦・梅香崎地区の将来推計人口

平成27年（2015年）に実施された国勢調査では、小島・大浦・梅香崎地区の人口は約39,000人でしたが、国の研究機関の将来推計を基にした地区別の推計では、2045年には約37,600人とやや減少すると予測されています。



※ 2015年は国勢調査による実績値

※ 2020年以降は、2010年の国勢調査を基礎とした国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基に算出

また、今後の小島・大浦・梅香崎地区の年齢層別人口構成は、2045年にかけて次のようになると予測されています。

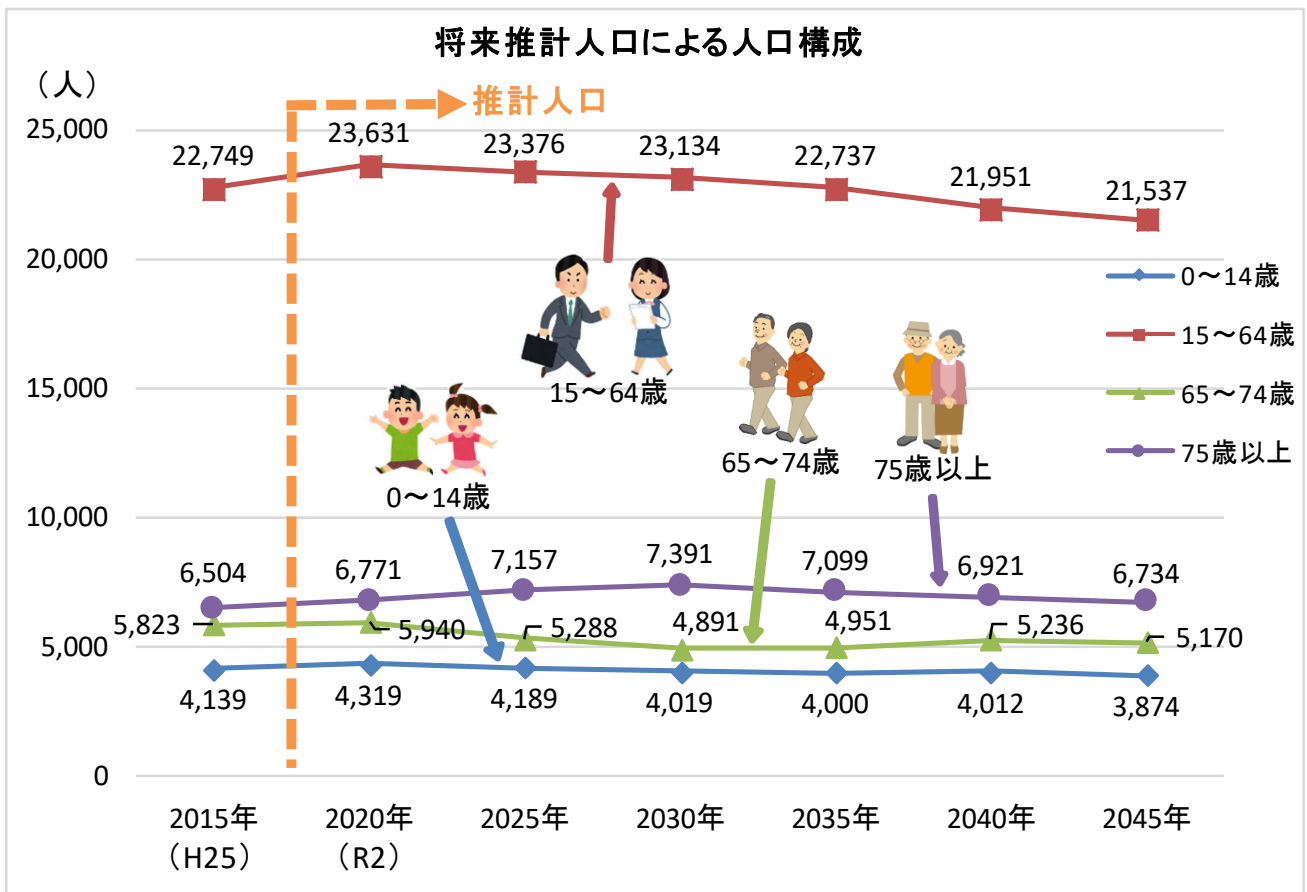
0歳から14歳までの年少人口（青色（ひし形））は、ほぼ横ばいで推移していきますが、僅かに減少傾向が続くと予測されています。

15歳から64歳までの生産年齢人口（赤色（四角））は、減少傾向が続くと予測されています。

老年人口のうち65歳から74歳までの層（緑色（三角））は、2030年まで僅かですが減少し、その後はほぼ横ばいで推移していくと予測されています。

老年人口のうち75歳以上の層（紫色（丸））は、2030年まで緩やかに増加し、その後は僅かに減少していくと予測されています。

2015年は、地区の総人口のうち15歳から64歳の生産年齢人口層が占める割合は約58%、65歳以上の層の人口が占める割合は約31%でしたが、2045年には、15歳から64歳の生産年齢人口層は約58%、65歳以上の層は約32%になると予測されています。

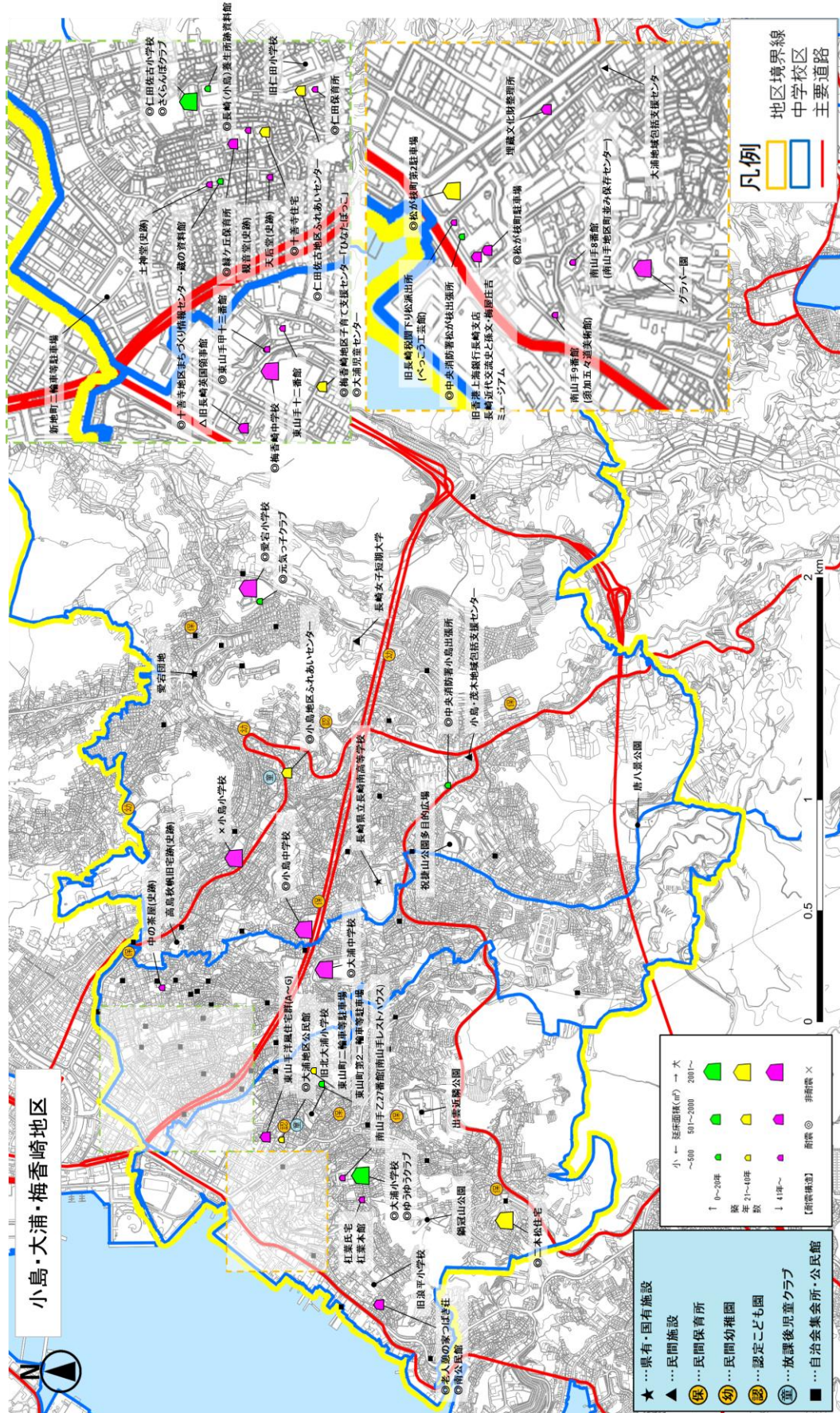


※ 2015年は国勢調査による実績値

※ 2020年以降は、2010年の国勢調査を基礎とした国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基に算出

3 小島・大浦・梅香崎地区の公共施設配置図

令和4年3月31日現在



4 小島・大浦・梅香崎地区の公共施設の情報

(1) 市民利用型施設

令和4年3月31日現在

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築年月 (※1)	経過年数	遊憩 所	耐震 性	使っていない 部屋 (※2)	スロー プ (※3)	多目的 トイレ (※4)	エレベ ーター (※5)	R2年度利用状況			施設にかかる費用 (※6)				
													日数	貸室の稼働率	利用者数	H30	R1	R2		
市域全体	博物館	十善寺地区まちづくり情報センター・蔵の資料館	観光 文化	154㎡	2015.2	7	-	○	-	○	×	-	-	-	-	○	○	○		
		長崎(小島)養生所跡資料館	観光 文化	407㎡	2020.4	1	-	○	-	○	-	○	-	261	-	1,880	-	-	○	
	文化財	グラバー園	観光 文化	6,043㎡	1863	159	-	-	-	-	○	○	-	313	-	239,380	○	○	○	
		南山手8番館(南山手地区町並み保存センター)	観光 文化 貸	340㎡	明治中期	-	-	-	-	-	×	×	×	266	10.1%	3,813	○	○	○	
		南山手乙9番館(須加五々道美術館)	観光 文化	206㎡	明治中期	-	-	-	-	-	×	×	×	265	-	712	×	×	×	
		南山手乙27番館(南山手レストハウス)	観光 文化	180㎡	1864	158	-	-	-	-	×	×	-	273	-	7,945	○	○	○	
		旧香港上海銀行長崎支店	観光 文化 貸	1,093㎡	1904.3	118	-	-	-	-	×	×	×	293	42.5%	3,125	×	×	○	
		旧長崎税関下り松派出所(べっ甲工芸館)	観光 文化	232㎡	1898	124	-	-	-	-	×	×	-	307	-	1,220	×	×	×	
		東山手洋風住宅群(東山手地区町並み保存センター・地球館)A~C棟	観光 文化 貸	1,072㎡	明治中期	-	-	-	-	-	×	×	-	266	1.5%	6,035	○	○	○	
		東山手洋風住宅群(古写真・埋蔵資料館)D~G棟	観光 文化	1,072㎡	明治中期	-	-	-	-	-	×	×	-	268	-	965	×	×	×	
		東山手十二番館	観光 文化	367㎡	1868	154	-	-	-	-	×	×	-	307	-	8,771	○	○	○	
		中の茶屋	観光 文化 貸	252㎡	1976	46	-	-	-	-	×	×	×	265	2.6%	1,544	×	×	×	
		旧長崎英国領事館	観光 文化	1,448㎡	1908	114	-	-	△ (※8)	-	-	×	×	×	-	-	-	○	○	○
		東山手甲十三番館	観光 文化	304㎡	明治中期	-	-	-	-	-	×	×	×	261	-	13,848	○	○	○	
		長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム	観光 文化	584㎡	1904.3	118	-	-	-	-	×	×	×	308	-	3,125	○	○	○	
		天后堂	観光 文化	93㎡	1736	286	-	-	-	-	×	×	-	-	-	-	○	○	○	
		観音堂	観光 文化	56㎡	1737	285	-	-	-	-	×	×	-	-	-	-	○	○	○	
		土神堂	観光 文化	52㎡	1691	331	-	-	-	-	×	×	-	-	-	-	○	○	○	
		旧紅葉本館	観光 文化	255㎡	明治中期	-	-	-	-	-	×	×	×	-	-	-	○	○	○	
		旧紅葉氏宅	観光 文化	141㎡	昭和初期	-	-	-	-	-	×	×	×	-	-	-	○	○	○	
	地区	コミュニティ	小島地区ふれあいセンター	交流 学習 本の貸出 貸	866㎡	1987.9	34	○	○	-	△ (※8)	○	○	248	36.2%	12,207	○	○	○	
			仁田佐古地区ふれあいセンター	交流 学習 本の貸出 貸	632㎡	1993.2	29	○	○	-	○	○	○	248	21.5%	8,557	○	○	○	
			南公民館	交流 学習 本の貸出 貸	965㎡	1973.3	49	○	○	-	-	×	○	246	19.5%	12,885	×	×	×	
			大浦地区公民館	交流 学習 本の貸出 貸	368㎡	1983.3	39	○	○	-	○	○	○	246	41.7%	16,421	○	○	○	
			老人憩の家つばき荘	高齢者 交流 入浴 貸	468㎡	1973.3	49	-	○	-	-	×	×	×	211	-	6,480	○	○	○
学校		大浦児童センター	子ども	498㎡	1981.3	41	-	○	-	-	×	×	×	270	-	6,524	○	×	×	
		小島小学校	教育	6,693㎡	1930.5	91	○	×	-	△	×	×	×	246	-	272	-	-	-	
		愛宕小学校	教育	5,309㎡	1968.3	54	○	○	-	×	○	×	×	246	-	387	-	-	-	
		仁田佐古小学校	教育	5,873㎡	2020.3	2	○	○	-	-	-	○	○	246	-	281	-	-	-	
		大浦小学校	教育	7,723㎡	2009.3	13	○	○	-	-	○	○	○	246	-	407	-	-	-	
		小島中学校	教育	7,448㎡	1961.12	60	○	○	-	△	○	×	×	246	-	298	-	-	-	
		大浦中学校	教育	6,395㎡	1960.3	62	○	○	-	-	○	○	×	246	-	100	-	-	-	
		梅香崎中学校	教育	7,617㎡	1957.3	65	○	○	-	-	○	○	×	246	-	213	-	-	-	
		放課後 児童クラブ	元気っ子クラブ(愛宕小)	子ども	123㎡	2008.10	13	-	○	-	-	×	×	-	290	-	1,305	○	○	○
			さくらんぼクラブ(仁田佐古小)	子ども	144㎡	2020.3	2	-	○	-	-	○	×	-	291	-	1,018	×	×	×
ゆうゆうクラブ(大浦小)	子ども		161㎡	2009.2	13	-	○	-	-	○	×	-	292	-	1,800	×	○	×		
子育て	梅香崎地区子育て支援センター(ひなたぼっこ)	親子 相談 交流	135㎡	1981.3	41	-	○	-	-	×	×	×	273	-	3,711	×	×	○		
	緑ヶ丘保育所	子ども	665㎡	1974.3	48	-	○	-	-	×	×	×	293	-	7,822	○	○	○		
地区 (特定地域)	保育所	子ども	463㎡	1973.6	48	-	○	-	-	×	×	×	293	-	640	○	○	○		

貸室の稼働率を記載している施設の部屋別の稼働率は次のとおりです。

種類	施設の名称	区分	稼働率	平均稼働率
コミュニティ	小島地区ふれあいセンター	軽スポーツ室	53.6%	36.2%
		第1研修室	50.5%	
		第2研修室	40.1%	
		調理室	0.8%	
	仁田佐古地区ふれあいセンター	第1研修室	46.6%	21.5%
		第2研修室	15.5%	
		第3研修室	21.6%	
		調理室	2.4%	
	南公民館	講堂	45.8%	19.5%
		第1研修室	22.0%	
		第2研修室	40.9%	
		第3研修室	6.1%	
		調理実習室	12.3%	
		和室	7.0%	
	大浦地区公民館	第1研修室	26.1%	41.7%
第2研修室		50.7%		
講堂		48.2%		

種類	施設の名称	区分	稼働率	平均稼働率
文化財	南山手8番館 (南山手地区町並み保存センター)	研修室1	15.0%	10.1%
		研修室2	17.5%	
		会議室1	3.5%	
		会議室2	4.3%	
		ホール	42.5%	
	旧香港上海銀行長崎支店 東山手洋風住宅群(東山手地区町並み保存センター・地球館)A~C棟 中の茶屋	会議室1	2.6%	1.5%
		会議室2	0.4%	
		和室	2.7%	
		茶室	2.5%	
		ホール	42.5%	

(2) 都市基盤施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	床面積	建築年月 (※1)	経過年数	遊憩 所	耐震 性	使っていない 部屋 (※2)	スロー プ (※3)	多目的 トイレ (※4)	エレベ ーター (※5)	R2年度利用状況			施設にかかる費用 (※6)		
												日数	貸室の稼働率	利用者数	H30	R1	R2
市域全体	市営駐車場	松が枝町駐車場	1,905㎡	1976.6	45	-	○	-	×	○	○	321	-	10,187	×	×	×
		松が枝町第2駐車場	4,200㎡	1990.3	32	-	○	-	×	○	○	365	-	34,960	×	×	○
		新地町二輪車等駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	365	-	6,828	○	○
	市営住宅	十善寺住宅	1,745㎡	1998.4	23	-	○	-	×	-	○	○	20	85.0%	17	○	○
二本松住宅		17,009㎡	1990.4	31	-	○	-	×	-	×	×	239	95.8%	229	×	×	×

(3) 公用施設

施設の種類	施設の種類	床面積	建築年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使ってい ない部屋 (※2)	スロー プ (※3)	多目的 トイレ (※4)	エレベ ーター (※5)	R2年度利用状況			施設にかかる費用 (※6)		
											日数	貸室の 稼働率	利用者数	H30	R1	R2
中央消防署松が枝出張所	消防	366㎡	2004.3	18	-	○	-	×	×	×	-	-	-	×	×	×
中央消防署小島出張所	消防	436㎡	2002.12	19	-	○	-	×	×	×	-	-	-	○	○	○
埋蔵文化財整理所	その他	1,438㎡	1974.3	48	-	○	-	×	×	×	-	-	-	○	○	○

(4) 公園施設※10

サービス 圏域	種類	施設の種類	敷地面積	開設 年月	経過 年数	避難 場所	耐震 性	使ってい ない部屋 (※2)	スロー プ (※3)	多目的 トイレ (※4)
市域全体	総合公園(※10)	唐八景公園	レクリエーション・憩い 87,198㎡	1967.3	55	-	○	-	○	○
地区	近隣公園(※10)	錦冠山公園	レクリエーション・憩い 30,500㎡	1972.3	50	○	○	-	○	○
		祝捷山公園	レクリエーション・憩い 14,000㎡	2004.4	17	○	○	-	○	○
		出雲近隣公園	レクリエーション・憩い 20,024㎡	2010.4	11	-	○	-	○	○

※1・・・主たる建物が複数ある場合は、最も古い建物の建築年月を記載しています。

※2・・・使っていない部屋がある場合は「×」、ない場合は「-」と記載しています。

※3・・・段差がない場合には「-」と記載しています。

複数ある建物のうち、一部にだけある場合は「△」と記載しています。

※4・・・車いすを回転できる広いスペース、オストメイト用汚物流し、ベビーチェア、着替え台、おむつ替えシート、介助用ベッドのいずれか一つでも備わっている場合は「○」と記載しています。

※5・・・1階のみの建物は、「-」と記載しています。

※6・・・市全体で同じ種類の建物と比較したときに利用者1人当たりの費用が平均より低い場合は○、高い場合は×と記載しています。

(利用者数を把握していない施設については、床面積1㎡あたりの費用で比較しています。)

※7・・・学校の利用者数は、R3.5.1現在の児童・生徒数です。

※8・・・旧長崎英国領事館は、現在耐震補強工事を行っています。

※9・・・小島地区ふれあいセンターは正面玄関にはスロープはありませんが、駐車場からは段差もなく、エレベーターで入館することができます。

※10・・・公園施設は、総合公園、地区公園及び近隣公園のうち、地区内にある公園のみを記載しています。ただし、地区内にあっても街区公園は記載していません。

- 総合公園…平和公園（平和発信の拠点）、長崎東公園（スポーツの拠点）、稲佐山公園（都市景観の保全やレクリエーションの拠点）、金比羅公園、唐八景公園及び川原大池公園（自然とのふれあいの拠点）など、それぞれの公園において地形や特性を活かし、住民に総合的に利用されている公園です。
- 近隣公園…近隣に居住する住民の日常における憩いの場や避難場所等防災の拠点となる公園です。
- 街区公園…街区内に居住する住民に利用されている公園です。

公共施設を見直すときのポイント（7つの視点）

(1) 市民利用型施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	1 建築後 30年以上	2 地震に弱い	3 あまり利用 されていない	4 未使用の 部屋がある	5 バリアフリー ではない	6 地区内に 類似施設がある	7 費用が多く かかっている	合計	
市域全体	博物館	十善寺地区まちづくり情報センター・蔵の資料館					✓	✓		2	
		長崎(小島)養生所跡資料館			✓			✓		2	
	文化財	グラバー園	✓					✓		2	
		南山手8番館(南山手地区町並み保存センター)	✓		✓		✓	✓		4	
		南山手乙9番館(須加五々道美術館)	✓		✓		✓	✓	✓	5	
		南山手乙27番館(南山手レストハウス)	✓		✓		✓	✓		4	
		旧香港上海銀行長崎支店	✓		✓		✓	✓	✓	5	
		旧長崎税関下り松派出所(べっ甲工芸館)	✓		✓		✓	✓	✓	5	
		東山手洋風住宅群(東山手地区町並み保存センター・地球館)A~C棟	✓		✓		✓	✓		4	
		東山手洋風住宅群(古写真・埋蔵資料館)D~G棟	✓		✓		✓	✓	✓	5	
		東山手十二番館	✓		✓		✓	✓		4	
		中の茶屋	✓		✓		✓	✓	✓	5	
		旧長崎英国領事館	✓	✓			✓	✓		4	
		東山手甲十三番館	✓		✓		✓	✓		4	
		長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム	✓		✓		✓	✓		4	
		天后堂	✓		✓		✓	✓		3	
		観音堂	✓		✓		✓	✓		3	
		土神堂	✓		✓		✓	✓		3	
		旧紅葉本館	✓		✓		✓	✓		3	
		旧紅葉氏宅	✓		✓		✓	✓		3	
地区	コミュニティ	小島地区ふれあいセンター	✓				✓	✓		3	
		仁田佐古地区ふれあいセンター						✓		1	
		南公民館	✓		✓		✓	✓	✓	5	
		大浦地区公民館	✓					✓		2	
		老人憩の家つばき荘	✓		✓		✓	✓		4	
	大浦児童センター	✓		✓		✓	✓	✓	5		
	学校	小島小学校	学校施設は、児童生徒によりよい教育環境を提供する視点で、考えております。								
		愛宕小学校									
		仁田佐古小学校									
		大浦小学校									
小島中学校											
放課後 児童クラブ	元気っ子クラブ(愛宕小)			✓		✓	✓		3		
	さくらんぼクラブ(仁田佐古小)			✓		✓	✓	✓	4		
	ゆうゆうクラブ(大浦小)			✓		✓	✓	✓	3		
子育て	梅香崎地区子育て支援センター(ひなたぼっこ)	✓		✓		✓	✓	✓	4		
	緑ヶ丘保育所	✓		✓		✓	✓		4		
地区 (特定地域)	保育所	仁田保育所	✓		✓		✓	✓	4		

(2) 都市基盤施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	1 建築後30年以上	2 地震に弱い	3 あまり利用 されていない	4 未使用の 部屋がある	5 バリアフリー ではない	6 地区内に 類似施設がある	7 費用が多く かかっている	合計
市域全体	市営駐車場	松が枝町駐車場	✓		✓		✓	✓	✓	5
		松が枝町第2駐車場	✓				✓	✓	✓	4
		新地町二輪車等駐車場			✓					1
	市営住宅	十善寺住宅					✓	✓		2
二本松住宅		✓				✓	✓	✓	4	

(3) 公用施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	1 建築後30年以上	2 地震に弱い	3 あまり利用 されていない	4 未使用の 部屋がある	5 バリアフリー ではない	6 地区内に 類似施設がある	7 費用が多く かかっている	合計
複数地区	消防	中央消防署松が枝出張所					✓	✓	✓	3
		中央消防署小島出張所					✓	✓		2
-	-	埋蔵文化財整理所	✓	✓			✓			3

(4) 公園施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	1	2	3	4	5	6	7	合計
			建築後30年以上	地震に弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	
市域全体	総合公園	唐八景公園								0
地区	近隣公園	鍋冠山公園								0
		祝捷山公園								0
		出雲近隣公園								0

【7つの視点のチェックについて】

- 1…建てられてからの年数が30年以上のものに✓
- 2…耐震性がない建物に✓
- 3…市全体で同じ種類の建物と比較したときに平均より貸室の稼働率または入居率が低い場合に✓
貸室の稼働率または入居率がない施設は、1日当たりの利用者数が平均より低い場合に✓
- 4…使われていない部屋などがある場合に✓
- 5…入口にスロープ、2階以上の建物にエレベーター、多目的トイレのいずれか1つでもなければ✓
- 6…地区内に同じような使い方ができる施設がある場合に✓
- 7…施設にかかる費用が3か年のうち2か年以上×の場合に✓

※地区計画に記載している公共施設配置図、公共施設の情報及び利用者数などのグラフは、地区関係者の皆さまへ計画（案）のご意見等をお伺いした時点（令和5年1月）のものであります。

5 将来の方向性

≪「5 将来の方向性」の見方≫

〇〇施設の 施設配置の 基本的な考え方	※将来の長崎の姿（2040年）を踏まえた行政サービスの方向性と、施設配置についての、市の基本的な考え方を記載しています。
---------------------------	--

ア 現状及び課題

（個別施設名）	
写真及び イメージ画像	<p>【建築年】</p> <p>【開館時間】</p> <p>【休館日】</p> <p>【年間利用者数】</p> <p>【1日当たりの利用者数】</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の経緯や、現状、使われ方などを記載しています。
<p>【現状及び課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハード、ソフト面における現状・課題を記載しています。 市民対話で出された主な意見などを記載しています。 	

イ 施設のあり方や見直しの方向性

※施設配置についての基本的な考え方と、市民対話で頂いた意見・アイデア等を踏まえて検討した、当該施設の今後のあり方や方向性を記載しています。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
(A施設)	→		施設のあり方を検討する
(B施設)			適正管理を行う

今後見直しの検討が必要と判断した施設については、その実施期間を矢印で示しています。

当面、現施設を維持すると判断した施設については、矢印の記載を省略しています。

「施設のあり方や見直しの方向性」はロードマップにも簡潔に記載しています。

(1) 市民利用型施設

①博物館（十善寺地区まちづくり情報センター・蔵の資料館、長崎（小島）養生所跡資料館）

博物館等の
施設配置の
基本的な考え方

博物館等は、関連する資料を収集、保管、展示し、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うことで、教育の振興や、学術及び文化の発展に寄与することなどを目的に設置しています。

また、地域の特徴的な歴史文化遺産を明らかにし、顕在化することで、自分の街への誇りや愛着の涵養や、ひいては地域活性化にもつなげます。

今後とも、貴重な資料を保存し、研究していくとともに地域独自の文化、歴史を適切な場所から発信していく必要があります、更に観光資源としても活用し、交流人口の拡大につなげます。

一方、展示物の老朽化等により設置当初の機能を果たせていないものや、展示物の移転・集約が可能な施設もあるため、全体として見直しを図ります。

ア 現状及び課題

十善寺地区まちづくり情報センター・蔵の資料館



【建築年】2015年

【開館時間】

十善寺地区まちづくり情報センター 10:00～16:00

蔵の資料館 9:00～17:00

【休館日】土日祝日、年末年始、お盆

【概要】

- 地域住民のまちづくり活動の推進と交流を図るとともに、地域や観光客の来訪者が唐人屋敷の歴史を学ぶなど、より地域の魅力を感じられるための拠点施設として設置しています。

【現状及び課題】

- 駐車場はありません。

長崎（小島）養生所跡資料館



【建築年】2020年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日（祝日除く）、年末年始

【年間利用者数】1,880人

【1日当たりの利用者数】7人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 仁田佐古小学校新校舎建設工事に先立つ埋蔵文化財発掘調査により検出された養生所遺構の一部を露出展示、ヨーロッパ製薬瓶など病院関連出土遺物等を展示するとともに、映像等を用いて、養生所及び関連施設である医学所、分析究理所の歴史的価値や、「日本近代西洋医学教育の父」と称されるポンペの功績などを紹介しています。

【現状及び課題】

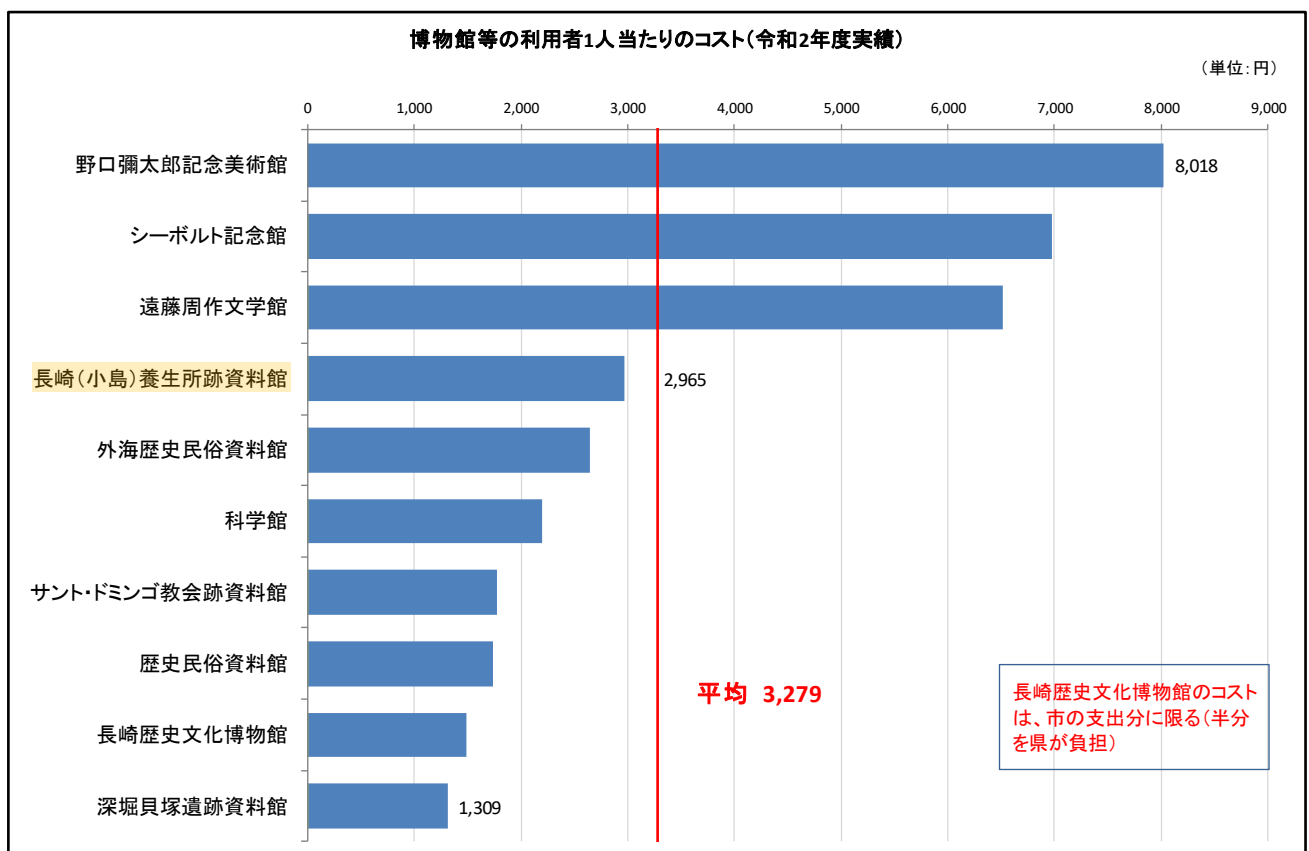
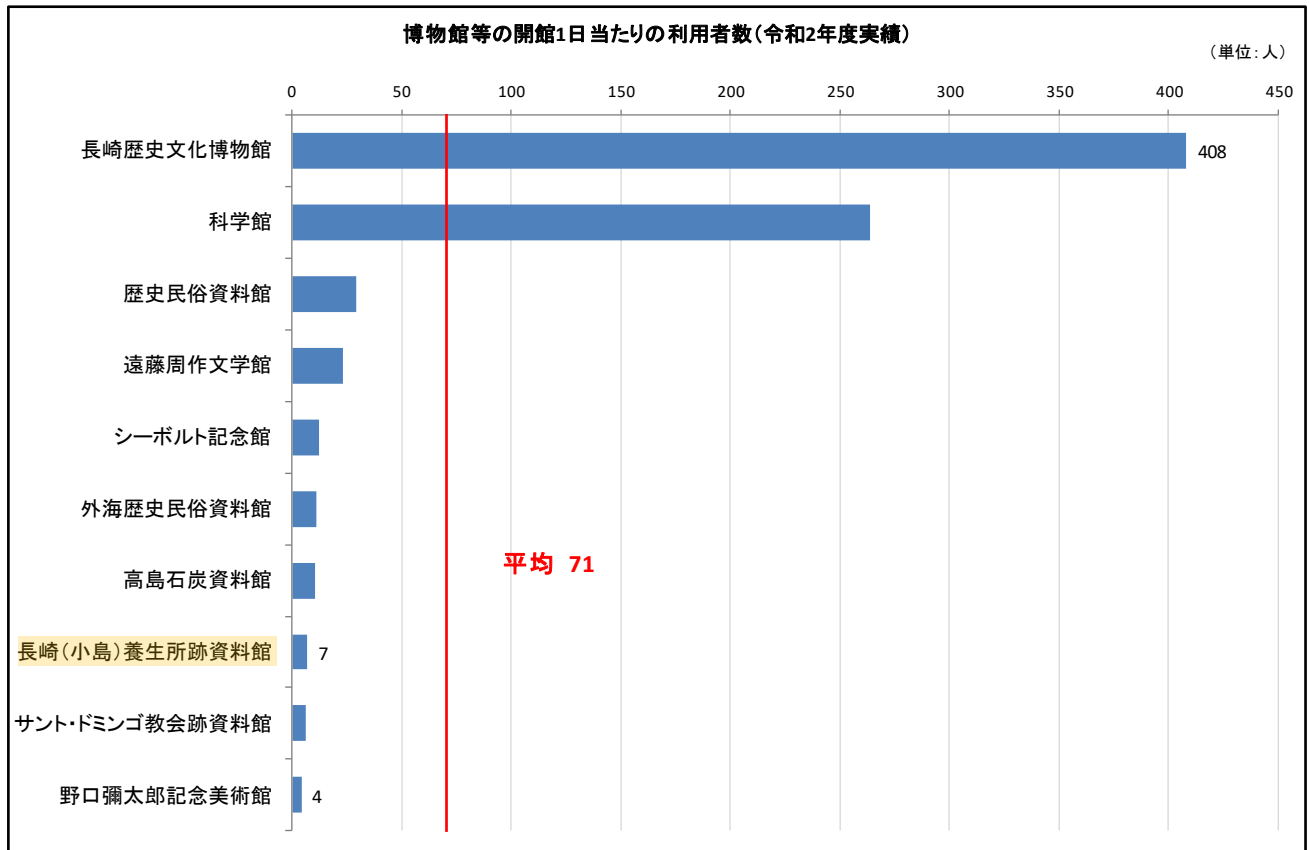
- 駐車場はありません。
- 仁田佐古小学校体育館に併設されています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 十善寺地区まちづくり情報センター・蔵の資料館については、まちづくり活動の継続と更なる交流人口の拡大を図る上で、今後一層、必要性は高まっていきます。また、立地的にも唐人屋敷跡地区のほぼ中心に位置していることから、現在の施設を適正に管理します。
- 長崎（小島）養生所跡資料館については、小島養生所等に関する遺構や遺物、資料などを展示するとともに、これらの貴重な情報を発信し、その歴史と価値を伝えながら、遺跡の保存・継承を行っていくため、引き続き現在地に配置し、現在の施設を適正に管理します。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
十善寺地区まちづくり情報センター ・蔵の資料館			適正管理を行う
長崎（小島）養生所跡資料館			



②文化財（グラバー園、南山手8番館（南山手地区町並み保存センター）、南山手乙9番館（須加五々道美術館）、南山手乙27番館（南山手レストハウス）、旧香港上海銀行長崎支店、旧長崎税関下り松派出所（ベッ甲工芸館）、東山手洋風住宅群（東山手地区町並み保存センター・地球館）A～C棟、東山手洋風住宅群（古写真・埋蔵資料館）D～G棟、東山手十二番館、中の茶屋（清水崑展示館）、旧長崎英国領事館、東山手甲十三番館、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム、天后堂、観音堂、土神堂、旧杠葉本館、旧杠葉氏宅）

文化財の
活用の考え方

文化財は、地域の歴史や文化に欠くことのできない大切な財産として、文化財保護法に基づき、保存・継承・活用することが求められています。長崎固有の指定有形文化財等を観光資源として活用することにより、交流人口の拡大に寄与するなど、観光施設としての側面もあるため、積極的な活用を努め、観光地としてのさらなる魅力の向上を図ります。

ア 現状及び課題

グラバー園



【建築年】1863年

【開園時間】8:00～18:00（夜間開園期間もあり）

【休園日】なし

【利用者数】239,380人

【1日当たりの利用者数】765人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- スコットランドの貿易商人、トーマス・ブレイク・グラバーの邸宅をはじめ3つの国指定重要文化財の住宅と、長崎市内の貴重な洋風建築を見ることができます。

南山手8番館（南山手地区町並み保存センター）



【建築年】明治中期

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日（祝日除く）、年末年始

【利用者数】3,813人

【1日当たりの利用者数】14人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 明治中期の長崎居留地模型（500分の1）、居留地時代の古写真などの町並みに関する資料の展示や情報の提供をしています。また、会議室や研修室などが併設されています。

南山手乙9番館（須加五々道美術館）



【建築年】明治中期

【開館時間】9：00～17：00

【休館日】月曜日（祝日除く）、年末年始

【利用者数】712人

【1日当たりの利用者数】3人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 南山手伝統建造物保存地区にある34棟の一つで、寄贈を受けた長崎市出身の須加五々道の作品の中から、約30点を展示しています。

南山手乙27番館（南山手レストハウス）



【建築年】1864年

【開館時間】9：00～17：00

【休館日】年末年始

【利用者数】7,945人

【1日当たりの利用者数】29人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- グラバー園に近接しているため、市民や観光客が休憩できる施設として活用されています。
- 旧居留地に関する資料等を展示し、市民や観光客の観覧に供することを目的に設置し活用されています。

旧香港上海銀行長崎支店



【建築年】1904年

【開館時間】9：00～17：00

【休館日】第3月曜日（祝日の場合は翌日）

【利用者数】3,125人

【1日当たりの利用者数】11人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 明治37年（1904）に竣工したこの建物は、下田菊太郎が設計した現存する唯一の遺構であり、国指定重要文化財となっています。

旧長崎税関下り松派出所（べっ甲工芸館）



【建築年】1898年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】年末年始

【利用者数】1,220人

【1日当たりの利用者数】4人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 歴史と伝統に培われたべっ甲細工の技術と技能を保存するため、約300点の貴重な作品を展示しています。

東山手洋風住宅群（東山手地区町並み保存センター・地球館）A～C棟



【建築年】明治中期

【開館時間】

東山手地区町並み保存センター 9:00～17:00

地球館（C棟） 10:00～17:00

【休館日】

東山手地区町並み保存センター 月曜日（祝日除く）、年末年始

地球館（C棟） 火・水曜日、年末年始

【利用者数】6,035人

【1日当たりの利用者数】23人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 明治20年代後半頃に建築されたこの7棟の木造洋館は、狭小な宅地に密集した形で建物が建ち、内外とも意匠・仕上げが質素、構造上各棟がほぼ同一なことから社宅または賃貸住宅として計画的に建設されたことが推測されている建物です。

東山手洋風住宅群（古写真・埋蔵資料館）D～G棟



【建築年】明治中期

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日（祝日除く）、年末年始

【利用者数】965人

【1日当たりの利用者数】4人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 同上

東山手十二番館



【建築年】1868年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日（祝日除く）、年末年始

【利用者数】8,771人

【1日当たりの利用者数】29人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 居留地時代に建設された多くの私学に関する歴史的資料を展示しており、国指定重要文化財に指定されています。

中の茶屋（清水崑展示館）



【建築年】1976年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日（祝日除く）、年末年始

【利用者数】1,544人

【1日当たりの利用者数】6人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 長崎市指定史跡で、往時の中の茶屋を偲ばれる江戸時代中期の庭園があり、かっぱの絵で有名な長崎市出身の清水崑の作品を展示しています。

旧長崎英国領事館



【建築年】1908年

【概要】

- 保存修理中のため令和7年度（予定）まで閉館しています。
- この建物は英国領事館として、上海の英国技師ウィリアム・コーワンの設計に基づき、長崎市大浦町の後藤亀太郎が施工、明治41年（1908）に完成しました。当初からの本館・附属屋・職員住宅をはじめ、門・塀にいたるまで敷地全体にわたって往時の姿をよく保っています。
- 明治後半期の洋風建築として、造形・意匠の面からも、歴史的並びに景観上貴重であるばかりでなく、近代日本外交史の一端を示す資料としても価値が高いです。

東山手甲十三番館



【建築年】明治中期

【開館時間】10：00～17：00

【休館日】月曜日（祝日除く）、年末年始

【利用者数】13,848人

【1日当たりの利用者数】53人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 1984年頃に旧上海銀行長崎支店の社宅として建設された洋館で、国登録有形文化財となっています。

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム



【建築年】1904年

【開館時間】9：00～17：00

【休館日】第1・第3月曜日（祝日の場合は翌日）

【利用者数】3,125人

【1日当たりの利用者数】10人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 中国革命の父孫文とその革命を支えた長崎出身の実業家・梅屋庄吉の国境を越えた友情や、国際貿易港であった長崎の歴史等を紹介しています。

天后堂



【建築年】1736年

【開館時間】9：00～17：00

【休館日】なし

【概要】

- 長崎名勝図絵（ながさきめいしょうずえ）では元文元年（1736）南京の人たちが初めて建てたとされています。

観音堂



【建築年】1737年

【開館時間】9：00～17：00

【休館日】なし

【概要】

- 瓢箪池（ひょうたんいけ）の奥の石に「元文二年（1737）」の刻印があるので、この年に創設させたと思われます。

土神堂



【建築年】 1691 年

【開館時間】 9 : 00～17 : 00

【休館日】 なし

【概要】

- 元禄4年(1691)9月、土神の石殿を建立したいという唐人達の願いが許され建立されました。

旧杠葉本館



【建築年】 明治中期

【概要】

- 将来、保存修理を予定しており、現在は非公開になっています。

旧杠葉氏宅



【建築年】 昭和初期

【概要】

- 将来、保存修理を予定しており、現在は非公開になっています。

共通

【現状及び課題】

- 市民対話では、
「地元の人でもどこにあるのかわからなかったり、行ったことのないところがあり、もっと宣伝が必要だと思う。」
「町並み保存センターは、何をしている施設なのかよくわからない。」
「南山手のレストハウスは、食事ができればよいのでは。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

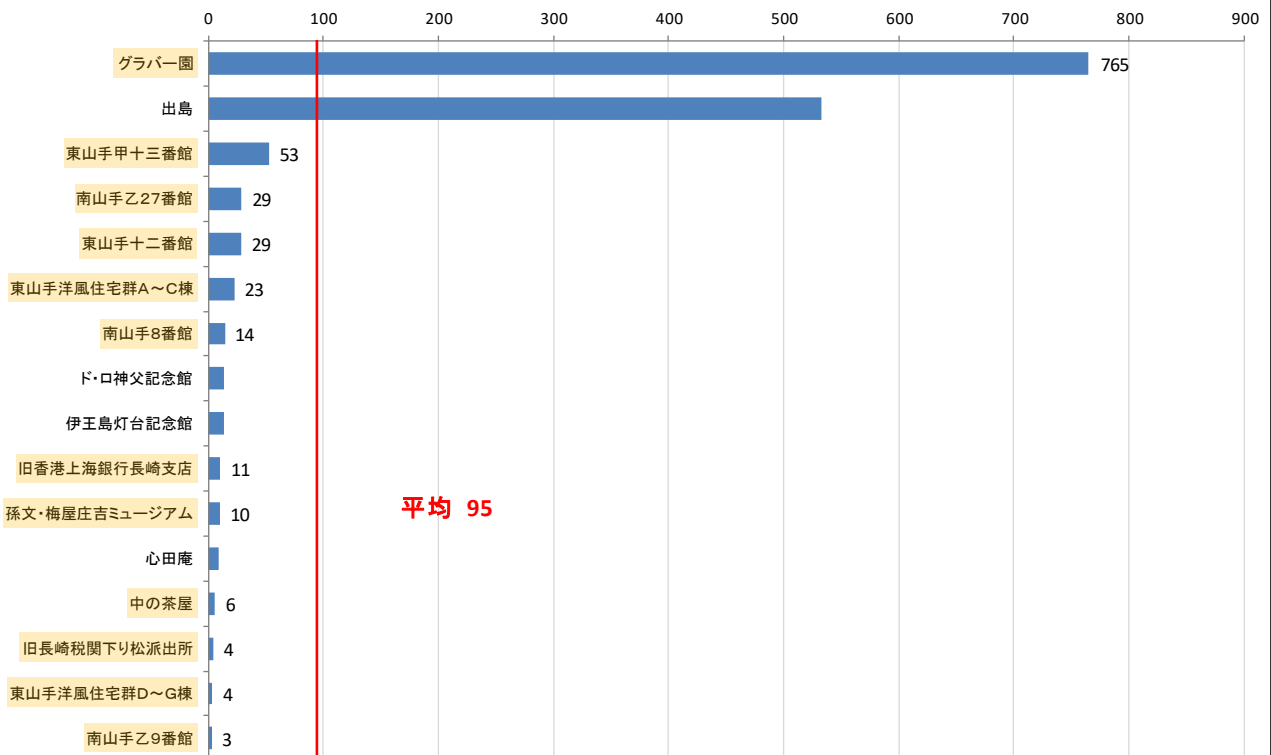
- 文化財については、文化財保護法に基づき、保存・継承・活用することが求められており、引き続き適正に管理します。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
グラバー園			
南山手8番館 (南山手地区町並み保存センター)			
南山手乙9番館 (須加五々道美術館)			
南山手乙27番館 (南山手レストハウス)			
旧香港上海銀行長崎支店			
旧長崎税関下り松派出所 (べっ甲工芸館)			
東山手洋風住宅群(東山手地区町並み保存センター・地球館) A～C棟			
東山手洋風住宅群 (古写真・埋蔵資料館) D～G棟			
東山手十二番館			文化財として適正に管理する
中の茶屋(清水崑展示館)			
旧長崎英国領事館			
東山手甲十三番館			
長崎近代交流史と 孫文・梅屋庄吉ミュージアム			
天后堂			
観音堂			
土神堂			
旧杠葉本館			
旧杠葉氏宅			

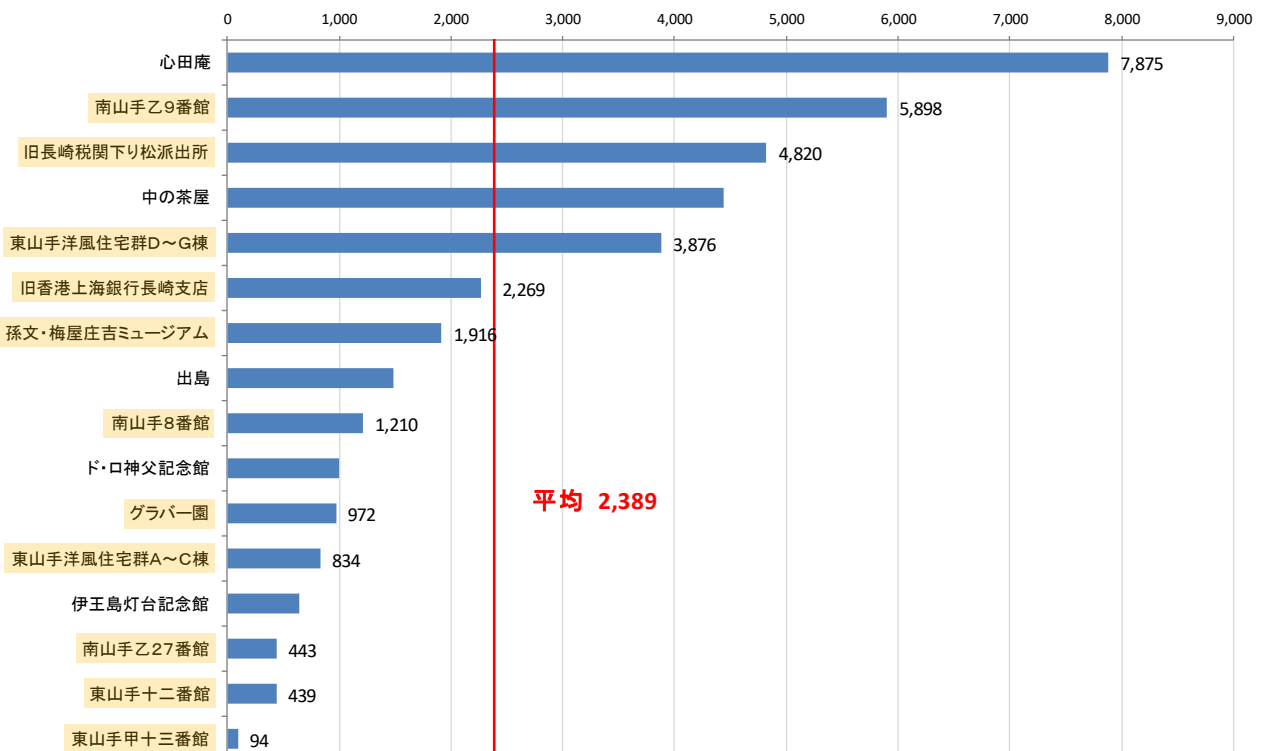
文化財の開館1日当たりの利用者数(令和2年度実績)

(単位:人)



文化財の利用者1人当たりのコスト(令和2年度実績)

(単位:円)

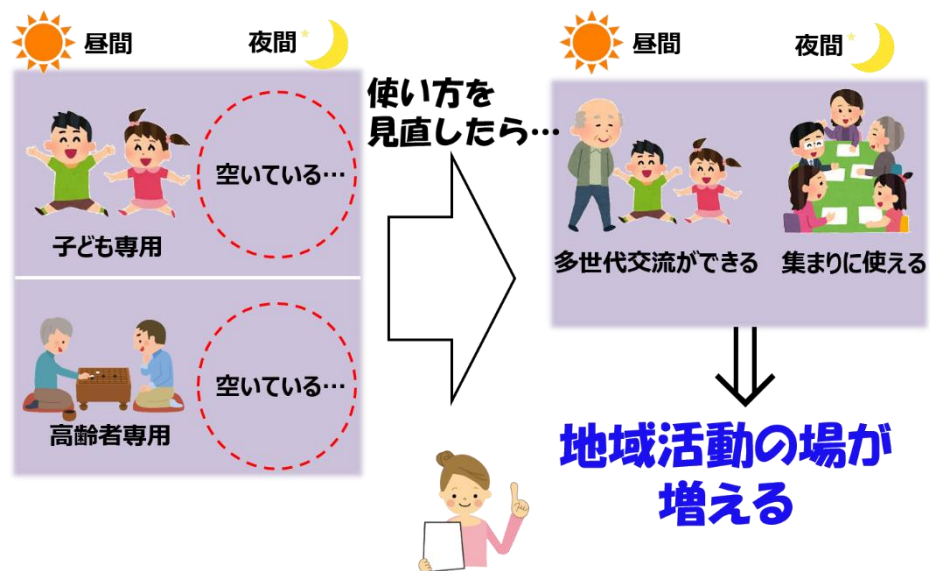


③コミュニティ活動施設（小島地区ふれあいセンター、仁田佐古地区ふれあいセンター、南公民館、大浦地区ふれあいセンター、老人憩の家つばき荘、大浦児童センター）

人口減少、少子高齢化が進むなかで、地域住民がふれあい、共に助け合うことで地域の中で心地よく暮らせるような、住みよい地域社会づくりを目指しており、そのためには、住民が気軽に立ち寄り、地域活動などが行える地域コミュニティの活動の場（「居場所」・「話し合いの場」・「活動の場」・「生涯学習の場」）が必要です。

今後は、ふれあいセンターや地区公民館など、地域の身近な施設に加え、特定年齢層を利用対象とした施設（老人憩の家等や児童厚生施設等）も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。

コミュニティ活動施設の施設配置の基本的な考え方



施設の大規模改修又は建替え時期には、コミュニティの形成状況、人口動態、利用状況及び同地区内にある市の既存施設の状況なども考慮しながら、施設の廃止や施設規模及び機能の見直しを検討します。

(1) 小学校区に配置する施設

コミュニティ活動の場の配置については、市民に最も身近な場所でサービスを提供することができる範囲である、概ね小学校区へ配置します。

(2) 中学校区に配置する施設（兼小学校区施設）

多数の人数が見込まれる等の活動や行事のため、小学校区にある施設よりも広いスペースや特定の設備を備えた施設については、概ね中学校区での配置とします。中学校区に配置する施設は、小学校区に配置する施設を兼ねることとします。

なお、中学校区に配置する施設の標準規模は、延べ床面積 600 m²程度とし、集会室、会議室、調理室、図書室などの機能を有する施設を基本として配置

することとします。

(3) 広域的利用として配置する施設（兼中学校区施設）

中学校区を超えた大規模な催しや講座等が可能な施設として、中学校区にある施設よりも広いスペースやホールなど特定の設備を備えた施設については、都市計画マスタープランにおける地域拠点または交通の便の良い場所に3か所配置します。広域的利用として配置する施設は、中学校区に配置する施設を兼ねることとします。

(4) 全市的利用として配置する施設（兼広域的施設、兼中学校区施設）

広域的利用として活用する施設と同様に大規模な催しや講座等が可能な施設として、広いスペースやホールなど特定の設備を備えた中央公民館及び北公民館を交通の便利のよい都心部及び都心周辺部に配置します。

ア 現状及び課題

小島地区ふれあいセンター



【建築年】1987年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日、年末年始

【年間利用者数】12,207人

【1日当たりの利用者数】49人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 主に地域行事や集会、学習グループの活動などで利用されています。

【現状及び課題】

- 駐車場は3台分が確保されています。

仁田佐古地区ふれあいセンター



【建築年】1993年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日、年末年始

【年間利用者数】8,557人

【1日当たりの利用者数】35人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 主に地域行事や集会、学習グループの活動などで利用されています。

【現状及び課題】

- 駐車場は1台分が確保されています。

南公民館



【建築年】1973年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】日祝日、年末年始

【年間利用者数】12,885人

【1日当たりの利用者数】52人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 主に住民の皆さんのニーズや生活課題を踏まえた各種講座等の実施や、生涯学習の場として、また、地域の集会や会議の場などで利用されています。
- 老人憩の家つばき荘が併設されています。

【現状及び課題】

- 駐車場は12台分が確保されています。
- 大浦小学校区内に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（大浦地区ふれあいセンター、老人憩の家つばき荘、大浦児童センター）があります。
- 市民対話では、
「駐車場が狭く、アクセスが悪い。」
「校区内で一番端の方にある。」
「災害時に駐車場（旧浪平小学校）が使えるようにできないか。」
という意見が出されました。

大浦地区ふれあいセンター



【建築年】1983年

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日、祝日、年末年始

【年間利用者数】16,421人

【1日当たりの利用者数】67人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 主に講座や自治会・行政の催しなどで利用されています。

【現状及び課題】

- 駐車場はありません。
- 大浦小学校区内に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（南公民館、老人憩の家つばき荘、大浦児童センター）があります。
- 市民対話では、
「建替えまで約30年あるが、規模はどうするのか。」
という意見が出されました。

老人憩の家つばき荘



- 【建築年】1973年
- 【開館時間】10:00～16:30
- 【休館日】日祝日、年末年始
- 【年間利用者数】6,480人
- 【1日当たりの利用者数】31人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 高齢者の方が入浴したり、談話やグループ活動、サークル活動などを通して健康の増進を図るための施設です。
- 南公民館が併設されています。

【現状及び課題】

- 駐車場は2台分が確保されています。
- 大浦小学校区内に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（南公民館、大浦地区ふれあいセンター、大浦児童センター）があります。
- 市民対話では、
「コミュニティ活動施設は必要だが、お風呂機能は不要。」
「老人」と決めてしまえば、使う人が限定される。」
「年齢制限の線引きを無くせば、みんなが使え、集約ができ、維持費もかからないと思う。」
という意見が出されました。

大浦児童センター



- 【建築年】1981年
- 【開館時間】平日 12:00～18:00
（夏・冬・春休み期間、土曜日） 9:00～18:00
- 【休館日】日祝日、年末年始
- 【年間利用者数】6,524人
- 【1日当たりの利用者数】24人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 児童に健全な遊び場を与えて、その健康を増進し、児童の情操を豊かにするための施設です。
- 満18歳未満の子どもが利用できます。
- 梅香崎地区子育て支援センター「ひなたぼっこ」が併設されています。

【現状及び課題】

- 駐車場はありません。
- 遊戯室、集会室、図書室があり、ボール遊びや縄跳び、読書やお絵かき、卓上ゲームなど、友達作りをしたり自由に遊ぶことができます。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

小島・大浦・梅香崎地区には4つの小学校があり、それぞれの小学校区ごとに、コミュニティ活動に使える場所が必要と考えます。

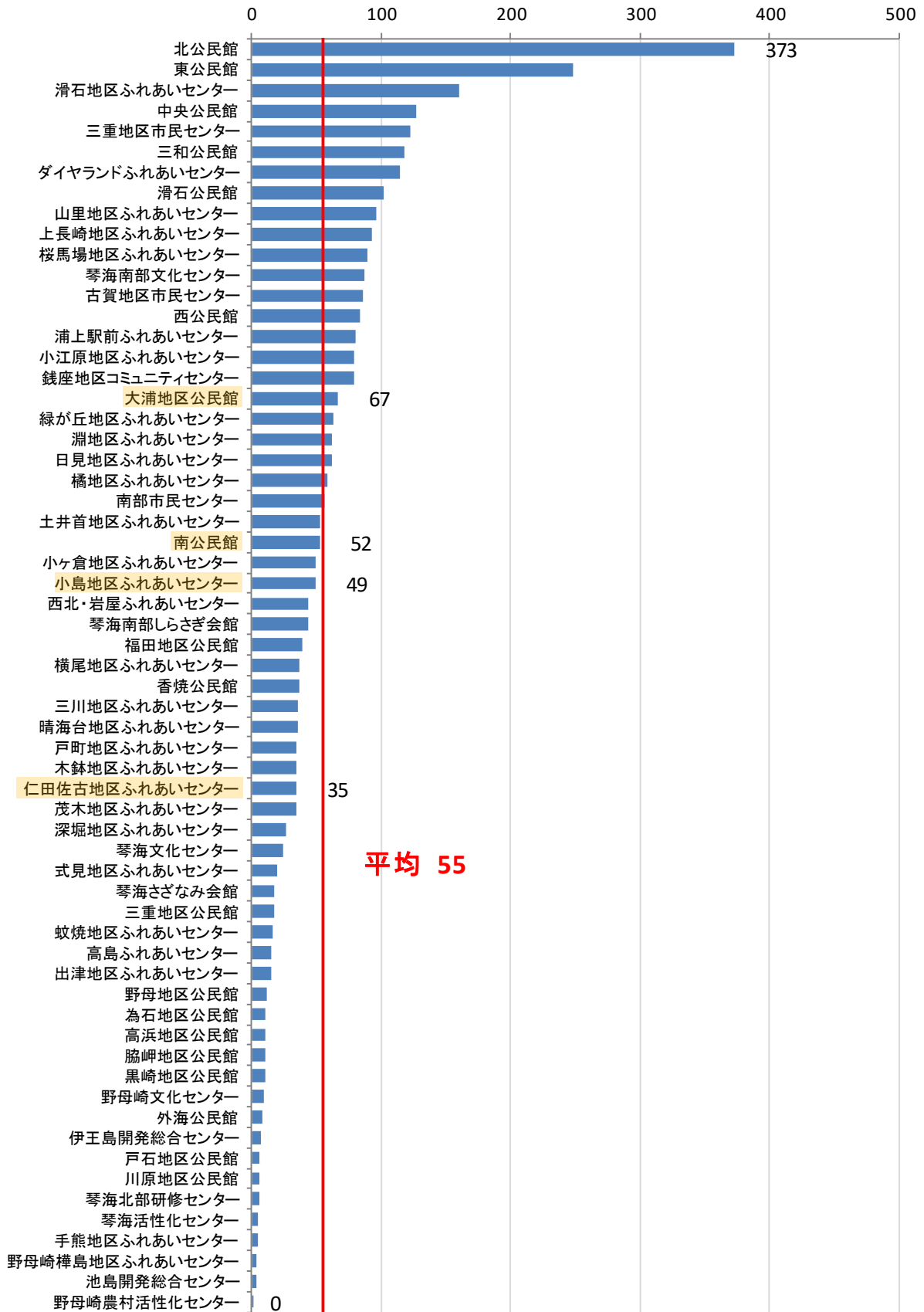
- 小島地区ふれあいセンター（小島小学校区）及び仁田佐古地区ふれあいセンター（仁田佐古小学校区）については、現在の施設を適正に管理します。
- 南公民館及び大浦地区ふれあいセンター（大浦小学校区）については、建替え検討の際に、施設規模や機能の見直しを行います。
- 老人憩の家つばき荘（大浦小学校区）については、近隣に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（南公民館や大浦地区ふれあいセンターなど）があることから、将来的には南公民館へ機能を集約することとし、高齢者専用施設としての用途は廃止します。
- 大浦児童センター（大浦小学校区）は、満18歳未満の子どもを対象とした施設です。現在、子どもの放課後の居場所として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室などがあり、今後はこれらのサービスの拡充を図ることとしていることから、将来的には子どもだけではなく、地域の皆さんが使いやすい施設へと使い方を見直していきます。
- 愛宕小学校区に配置する施設については、現にコミュニティ活動が行われている自治会集会所、町立公民館においてその機能を確保します。なお、その場合には、施設の維持管理に必要な支援の検討を行っていきます。

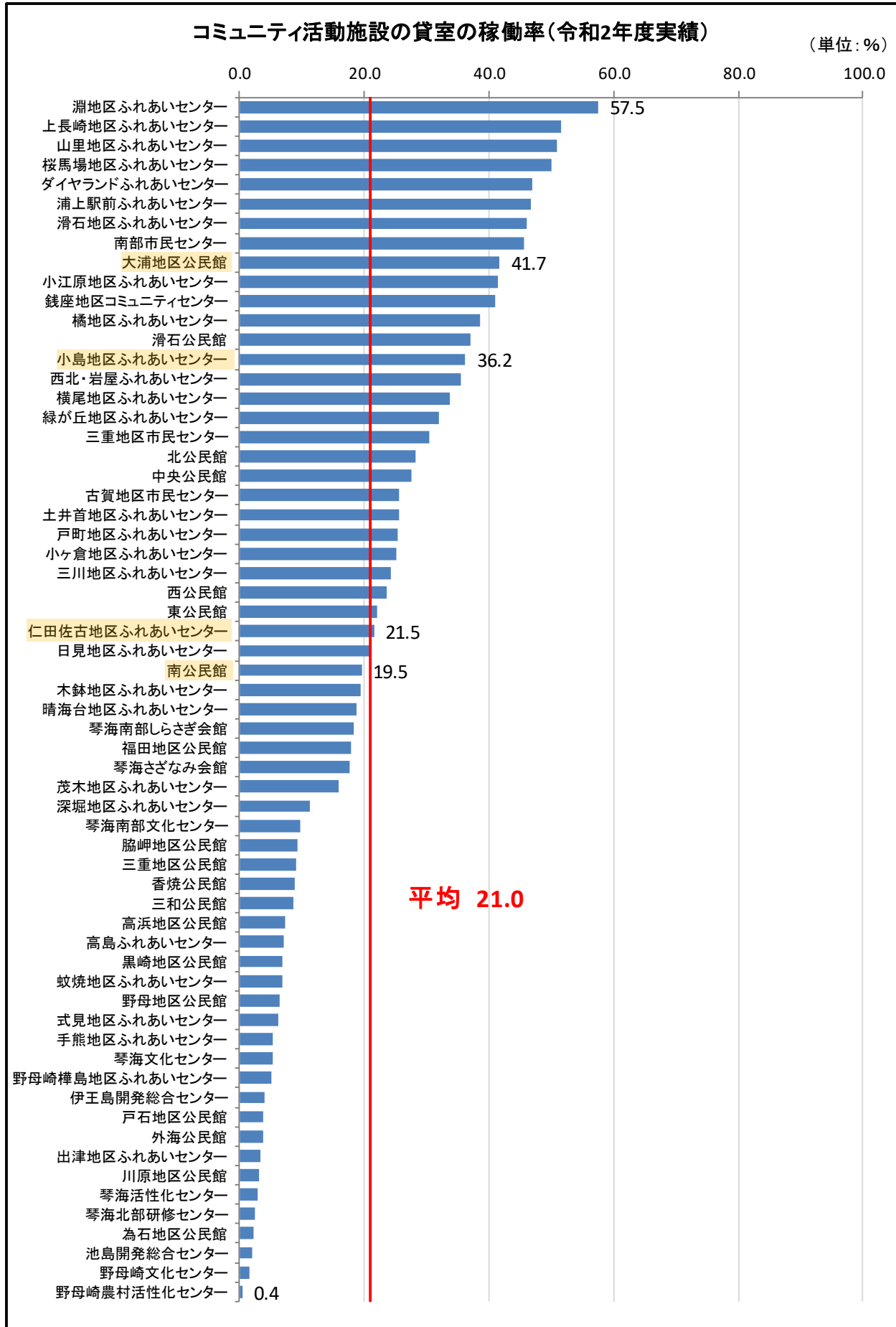
ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
小島地区ふれあいセンター			適正管理を行う
仁田佐古地区ふれあいセンター			
南公民館			建替え検討の際に、施設規模や機能の見直しを行う
大浦地区ふれあいセンター			
老人憩の家つばき荘			高齢者専用施設としては廃止し、廃止後の施設のあり方を検討する
大浦児童センター			子ども専用施設としての使い方を見直し、施設のあり方を検討する

コミュニティ活動施設の開館1日当たりの利用者数(令和2年度実績)

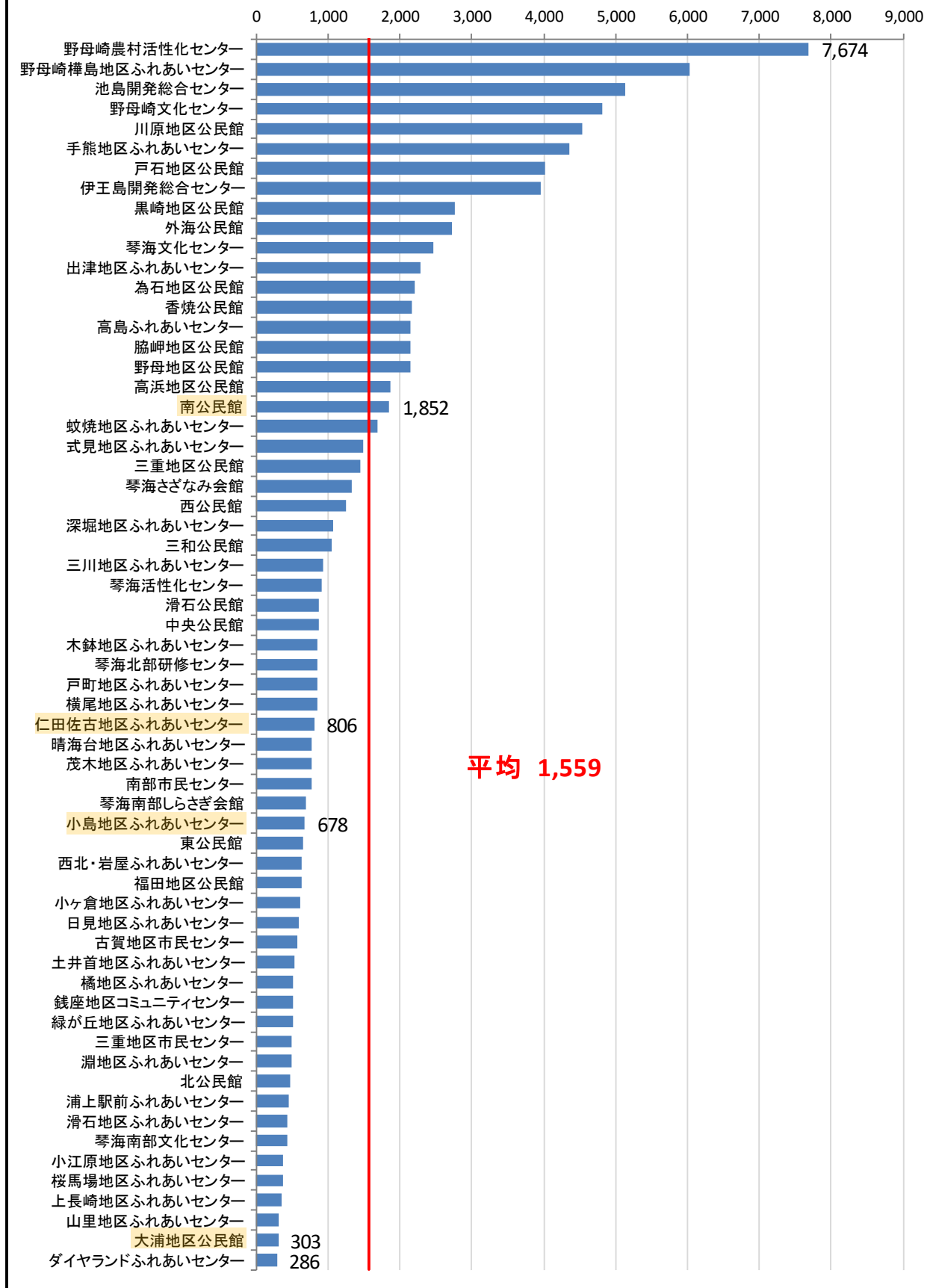
(単位:人)

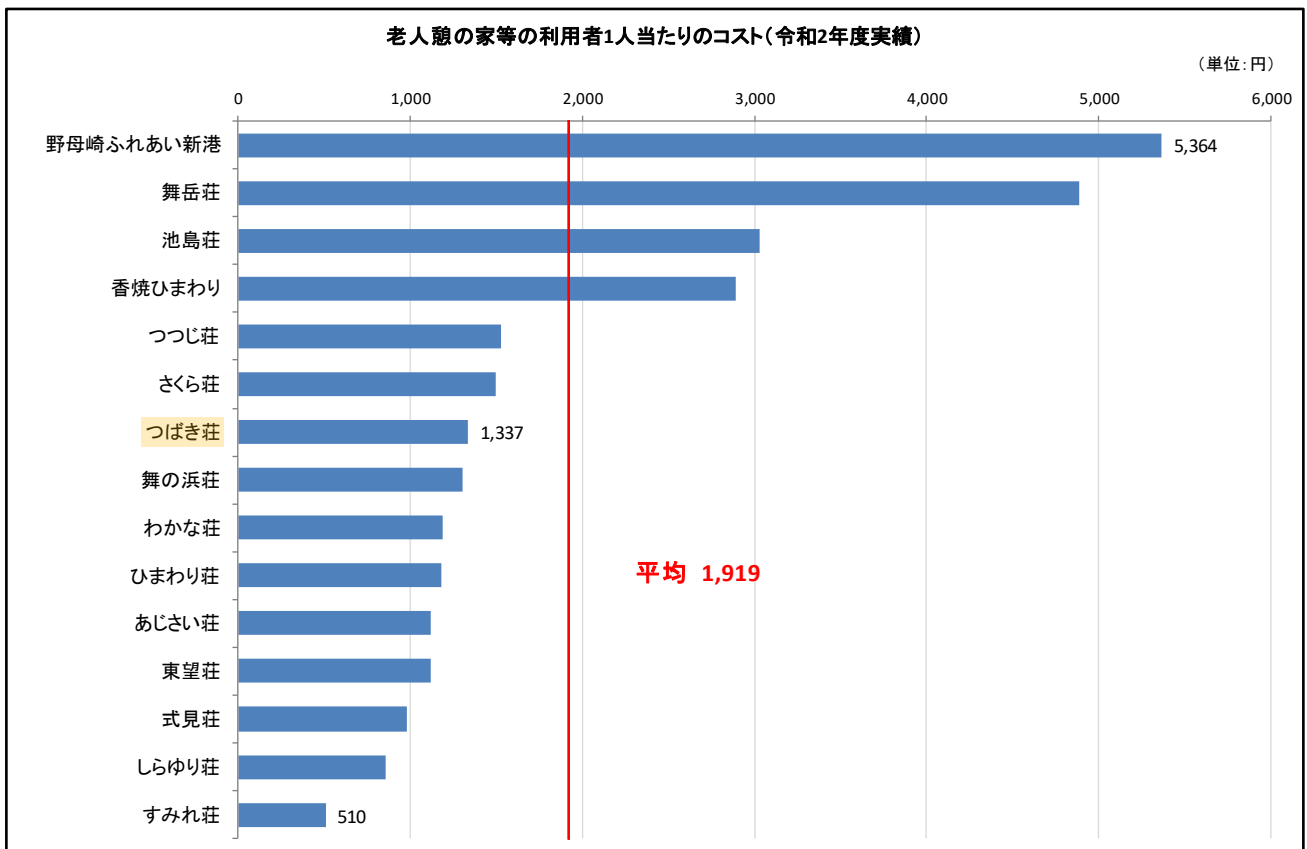
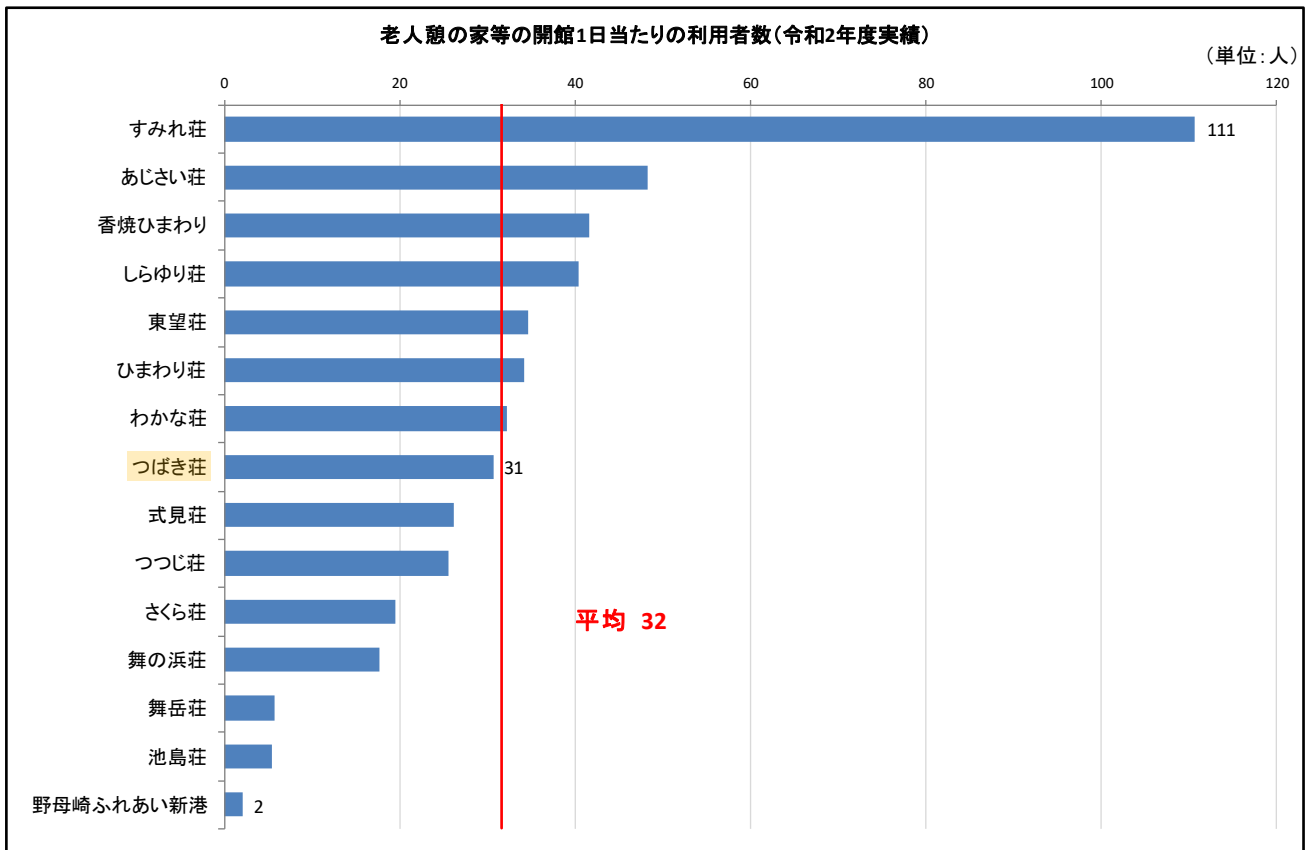


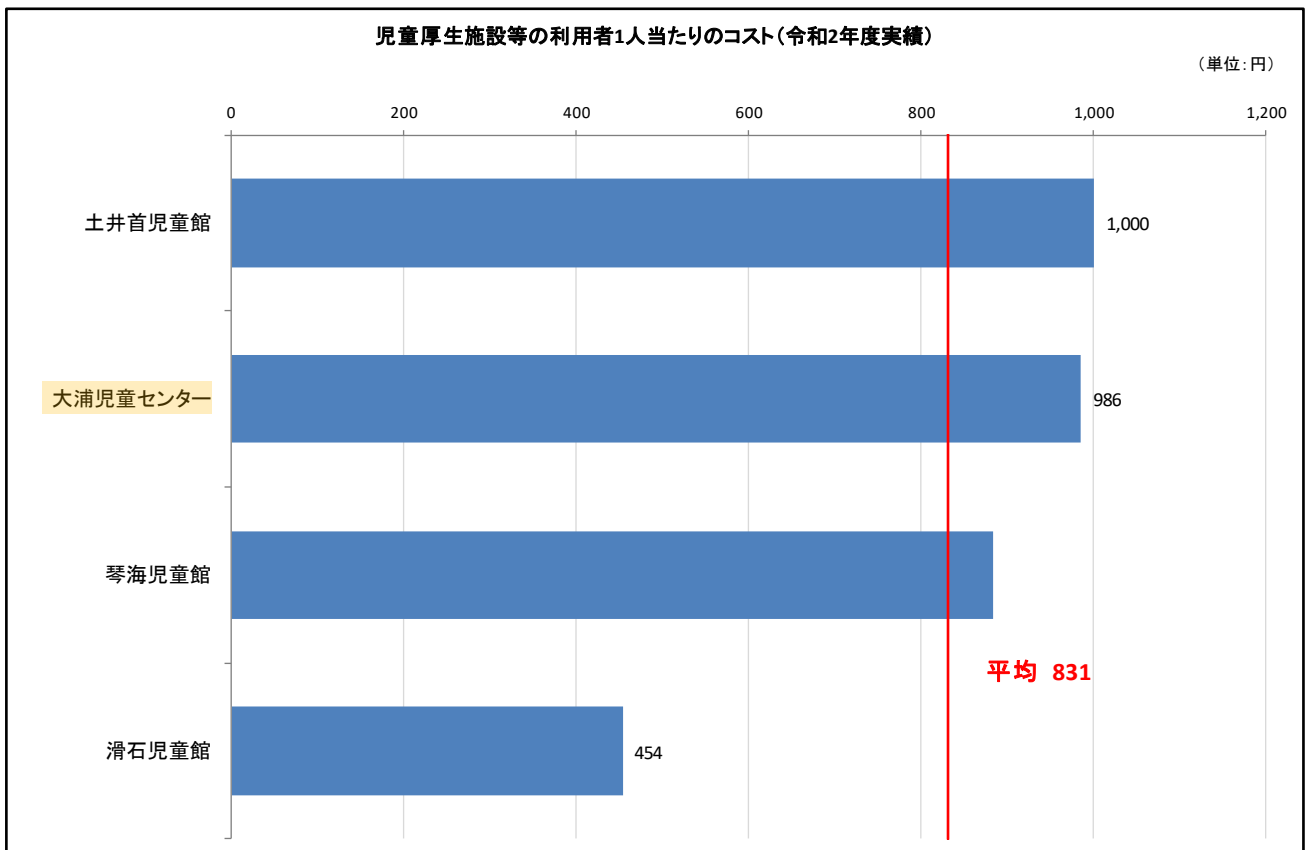
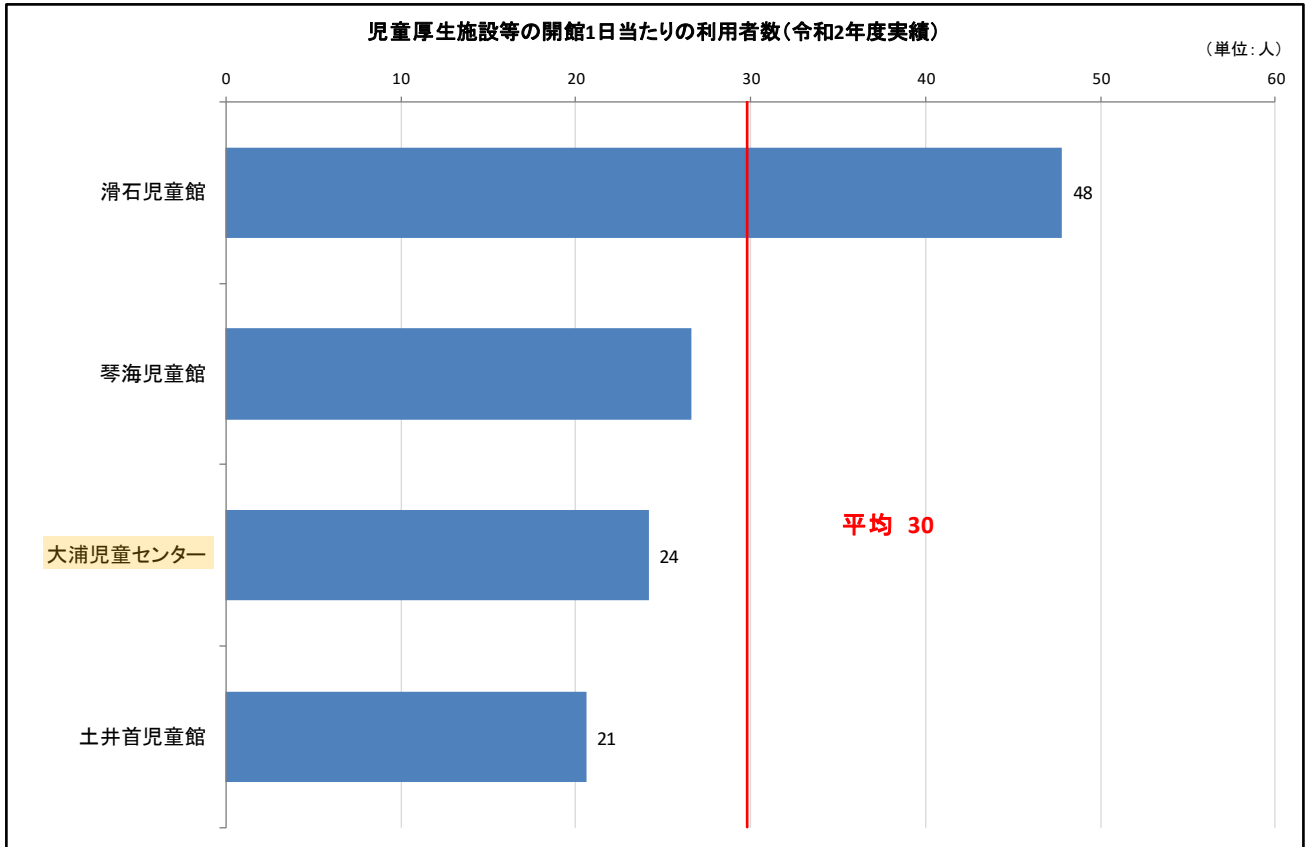


コミュニティ活動施設の利用者1人当たりのコスト(令和2年度実績)

(単位:円)







④学校（小島小学校、愛宕小学校、仁田佐古小学校、大浦小学校、小島中学校、大浦中学校、梅香崎中学校）

学校の施設配置の基本的な考え方

学校は、児童生徒が確かな学力を身に付け、集団の中で社会性を育んでいく役割を担っています。また、学校行事や部活動などを通して人間性、協調性を育む場でもあります。

子どもたちは集団生活の中で学習することによって、知的にも社会的にも成長するため、一定の学校規模を確保する必要があります。

長崎市の小中学校の児童生徒数は、昭和 30 年代のピーク時と比較し、約 7 割減少していますが、その一方で、学校の数は大きく変わっておらず、多くの学校で小規模化が進んでいます。

このような中、子どもたちが集団生活の中で活気に満ちた活動ができるような学校規模を確保するため、「望ましい学校規模」として、小学校にあつては、人間関係の固定化を防ぎ、集団の中で多様な考え方にふれ、切磋琢磨できるよう、クラス替えができる 12 から 18 学級としています。

中学校では、これに加え、全教科に教員配置ができることや、部活動の十分な選択ができることなどの理由により、9 から 18 学級とし、小中学校の規模の適正化と適正配置に取り組みます。

また、児童生徒の通学については、原則徒歩通学としますが、バス等の交通機関の利用を認める場合は小学校においては通学距離 2 km 以上、中学校においては 3 km 以上の際に通学費の一定額を補助しており（小学校で 4 km 以上、中学校で 6 km 以上の場合は全額補助）、自宅から学校までバス等の交通機関の利用を含めて概ね 1 時間以内の範囲で適正配置を行います。

ア 現状及び課題

※児童・生徒数は令和 3 年 5 月 1 日現在

小島小学校（2027 年_新校舎竣工予定）		愛宕小学校	
	【建築年】 1930 年 【児童数】 272 人		【建築年】 1968 年 【児童数】 387 人
仁田佐古小学校		大浦小学校	
	【建築年】 2020 年 【児童数】 281 人		【建築年】 2009 年 【児童数】 407 人

小島中学校		大浦中学校	
	【建築年】 1961年 【生徒数】 298人		【建築年】 1960年 【生徒数】 100人
梅香崎中学校			
	【建築年】 1957年 【生徒数】 213人		

共通

【現状及び課題】

- 半数以上の学校が建築後50年を経過しており、施設の老朽化が進行しています。
- 市民対話では、
 - 「学校の空き教室を授業の妨げにならないよう、出入口を別に整備するなどして、昼間でも地元の人が使えるようにできないか。」
 - 「給食の時などにオープン教室を開き、子どもたちと年配の方たちの交流の場にできないか。」
 - 「小島小学校の改築を行っていると思うが、地域に集会所がないので、多世代の方が利用できる色々な機能や、日中しか学校が使われないので、夜間開放して地域の方も使えるようにしてはどうか。」
 - 「大浦中学校が将来的に統廃合により閉校したら、大規模な防災広場にしてほしい。」
 - 「大浦中学校の場所が将来的に統廃合で空けば、「地域の駅」のような形でそこを中継地点としてバスやジャンボタクシーが通るような、斜面地の上と下をつなぐ場所になればいいと思う。」
 という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 「長崎市立小学校・中学校における規模の適正化と適正配置の基本方針」に基づく「学校規模の適正化と配置適正にかかる実施計画（案）」において、大浦中学校、梅香崎中学校は規模の適正化が必要な学校として位置付けられており、地域の状況や生徒数の推移を見極めながら適正規模の確保に努めます。
- 今後とも、児童生徒数の推移を注視しながら、施設については、適正な維持管理に努めます。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
小島小学校			適正管理を行う
愛宕小学校			
仁田佐古小学校			
大浦小学校			
小島中学校			適正管理を行う 地域の状況や生徒数の 推移を見極めながら、 学校規模の適正化と適 正配置の協議を行う
大浦中学校			
梅香崎中学校			

⑤放課後児童クラブ（元気っ子クラブ、さくらんぼクラブ、ゆうゆうクラブ）

放課後児童クラブ
の施設配置の
基本的な考え方

子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るために、小学校区ごとに放課後児童クラブを設置します。

児童数は、ほとんどの小学校において減少が見込まれるものの、保護者が安心して働けるよう、子どもたちの放課後等において、適切な遊びや生活ができる場所を提供する必要があるため、基本的には、小学校区ごとに利用見込みに応じた放課後児童クラブを配置することとしています。

放課後児童クラブの子どもの集団の規模は、放課後児童クラブ運営指針に基づき、子どもが相互に関係性を構築し、1つの集団としてまとまりをもって共に生活し、放課後児童支援員が個々の子どもと信頼関係を築くことができる規模として、概ね40人以下とします。

放課後児童クラブの配置については、学校の統廃合と併せて、事業者に対し放課後児童クラブの運営の統合を働きかけていくとともに、1つの事業者が複数の放課後児童クラブの運営を行うよう、調整を図ります。

また、学校の統廃合にかかわらず規模が小さい放課後児童クラブが生じる場合は、子どもたちの環境面や、クラブの運営面における影響を考慮し、特に利用児童数が10人以下の小規模の放課後児童クラブについては、適正な規模となるよう統合を図っていきます。

その際、放課後児童クラブが未設置校区となる児童については、既存の送迎支援に係る補助制度の利用を図りながら、安全面の確保を行っていきます。

新たな施設整備や施設の更新が必要となる場合は、事業者による施設整備を支援することで、子どもたちの放課後等における居場所の確保を図ります。

ア 現状及び課題

元気っ子クラブ



【建築年】2008年

【月平均利用者数】54人 ※月平均利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 愛宕小学校の敷地内に設置されています。

さくらんぼクラブ



【建築年】2020年

【月平均利用者数】42人 ※月平均利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 仁田佐古小学校の施設内に設置されています。

ゆうゆうクラブ



【建築年】 2009 年

【月平均利用者数】 74 人 ※月平均利用者数は令和 2 年度実績

【概要】

- 大浦小学校の施設内及び余裕教室を利用して設置されています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

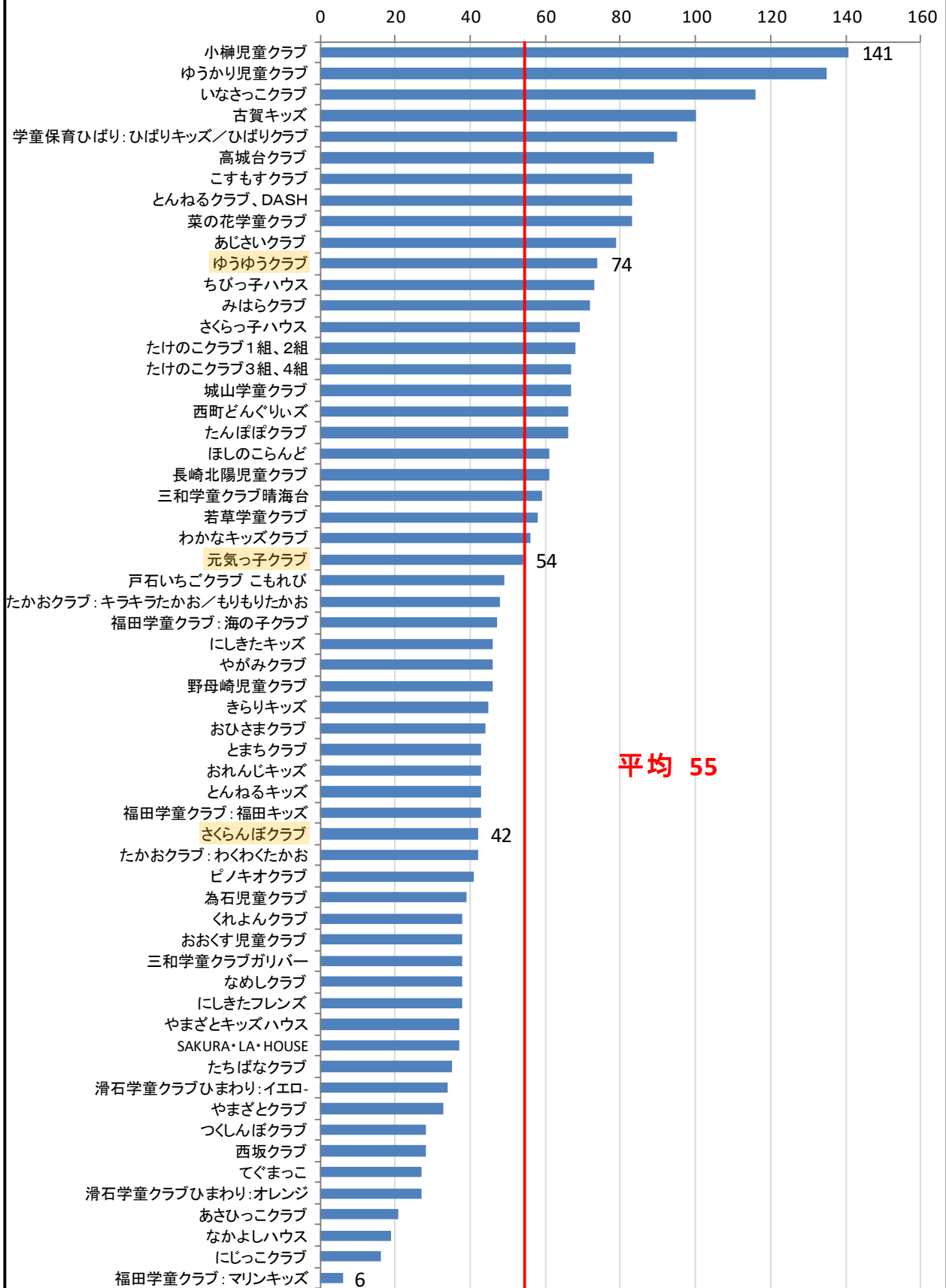
- 放課後児童クラブについては、今後も現在の施設を適正に管理していきますが、学校の適正配置が進んだ場合には、学校の統廃合と併せて、事業者に対し放課後児童クラブの運営の統合を働きかけていきます。
- 放課後児童クラブの多くは、小学校の敷地内にあるため、学校側との管理区分を明確にし、今後も安全性を確保しながら運営していきます。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030 以降～	
元気っ子クラブ			適正管理を行うとともに、学校の適正配置に併せ、事業者へクラブの統合を働きかけていく
さくらんぼクラブ	→		
ゆうゆうクラブ			

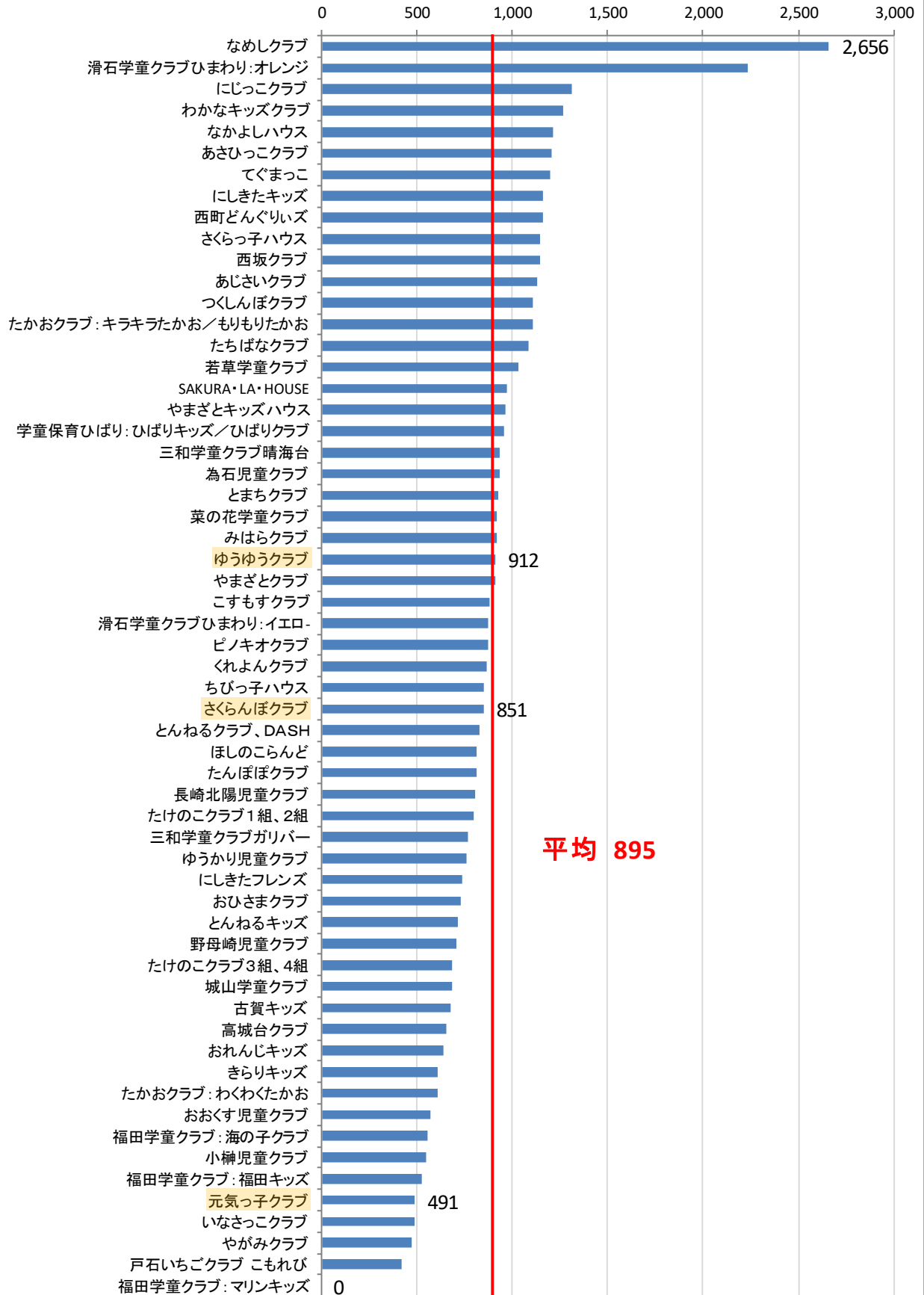
放課後児童クラブの施設ごとの月平均利用者数(令和2年度実績)

(単位:人)



放課後児童クラブの月平均利用者1人当たりのコスト(令和2年度実績)

(単位:円)



⑥子育て関連施設（梅香崎地区子育て支援センター「ひなたぼっこ」）

子育て関連施設の
施設配置の
基本的な考え方

少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化など、家庭や地域の状況が変化してきたことにより、子育てに不安や負担を感じている保護者が増加しています。また、今後の人口減少により、更に状況が変化することが予想されますが、安心して子どもを生き育てることができ、地域や社会に見守られながら子どもたちが健やかに育つことができるよう、子育て支援機能を充実します。

そこで、子育ての不安感・負担感を軽減することを目的として、地域の身近な場所で保護者が気軽に相談、情報提供、交流ができる機能を持った子育て支援センターを設置します。当面の目標として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、市内を16区域に区分し、利便性を勘案して、各1か所配置します。

設置にあたっては、市の既存施設の活用に加え、民間施設も活用しますが、活用できる施設がない場合には、新設について検討します。

また、発達障害のある子どもや発達が気になる子どもを育てる保護者の負担軽減を図るため、気軽に交流や相談等ができる発達障害支援に特化した子育て支援センターを市内に配置するとともに、利用者の実態やニーズを踏まえて、より良い施設のあり方及び場所についても検討します。

ア 現状及び課題

梅香崎地区子育て支援センター「ひなたぼっこ」



【建築年】1981年

【開館時間】10:00～16:00

【休館日】日祝日、年末年始

【年間利用者数】3,711人

【1日当たりの利用者数】14人 ※利用者数は令和2年度実績

【概要】

- 概ね3歳未満の児童と保護者が気軽に集まって自由に遊んだり、育児相談等を行うことができる場所です。
- 大浦児童センターが併設されています。

【現状及び課題】

- 駐車場はありません。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

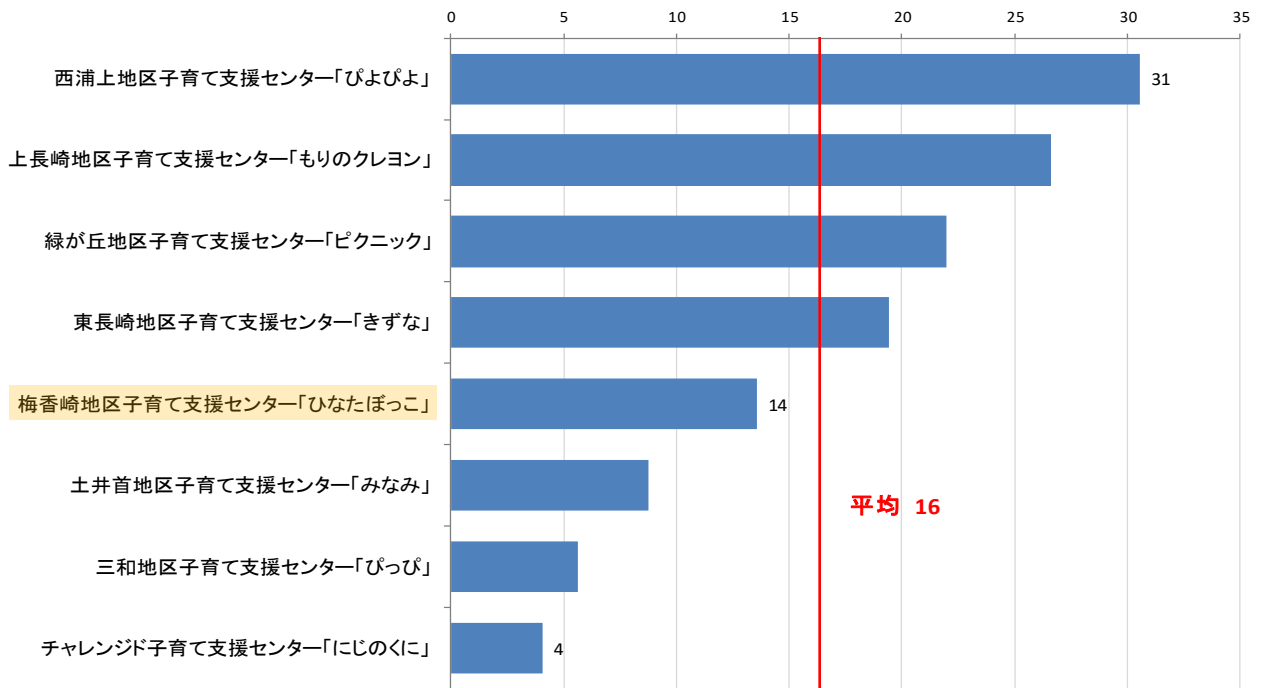
- 梅香崎地区子育て支援センターは、安心して子どもを生き育てることができ、地域や社会に見守られながら子どもたちが健やかに育つことができるよう、現在の施設を引き続き適正に管理します。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
梅香崎地区子育て支援センター 「ひなたぼっこ」			適正管理を行う

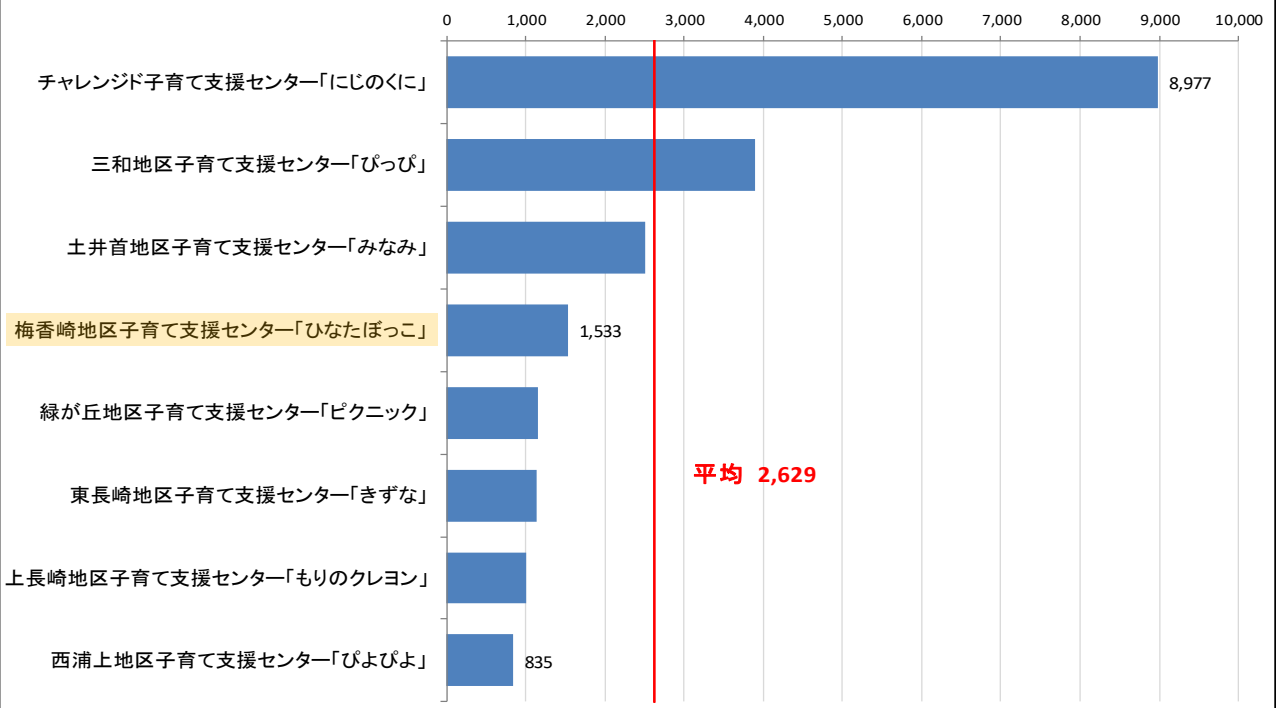
子育て関連施設の開館1日当たりの利用者数(令和2年度実績)

(単位:人)



子育て関連施設の利用者1人当たりのコスト(令和2年度実績)

(単位:円)



⑦ 保育所・幼稚園（緑ヶ丘保育所、仁田保育所）

保育所・幼稚園の
施設配置の
基本的な考え方

就労などの理由により、保護者に代わって保育を行う「保育サービス」及び、幼児期における教育を行う「幼児教育サービス」は、人口減少や社会情勢の変化にあっても、安心して子どもを生み育て、地域や社会に見守られながら、子どもたちが健やかに育つ環境を整えるうえでは必要です。

「官から民へ」の流れの中で、行政が果たすべき役割を見極め、民間に事業を委ねることが可能なものについては民間活力を活用しますが、行政においては、「公的幼児教育・保育の確保」（セーフティネット機能）という役割を担う必要があることや、教育・保育への行政による一定の関与を確保する観点から、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ市立の認定こども園が必要です。

配置については、全市的なエリアを対象として、交通の利便性を勘案し、市内中心部に1か所配置します。

ア 現状及び課題

緑ヶ丘保育所（2025年4月_民間移譲予定）



【建築年】1974年

【開園時間】7:15～19:00

【休館日】日祝日、年末年始

【年間利用者数】782人 ※利用者数は令和2年度実績

【入所率】54.3%

【概要】

- 保護者が労働等により、家庭において十分保育することができない児童に対して、保護者に代わって保育をすることや、児童の心身の健全な発達を図ることができる施設です。

【現状及び課題】

- 定員（120人）に対する入所希望は、他の市立保育所・幼稚園に比べてやや少ない傾向にあります。

仁田保育所（2025年4月_民間移譲予定）



【建築年】1973年

【開園時間】7:15～19:00

【休館日】日祝日、年末年始

【年間利用者数】640人 ※利用者数は令和2年度実績

【入所率】59.3%

【概要】

- 保護者が労働等により、家庭において十分保育することができない児童に対して、保護者に代わって保育をすることや、児童の心身の健全な発達を図ることができる施設です。

【現状及び課題】

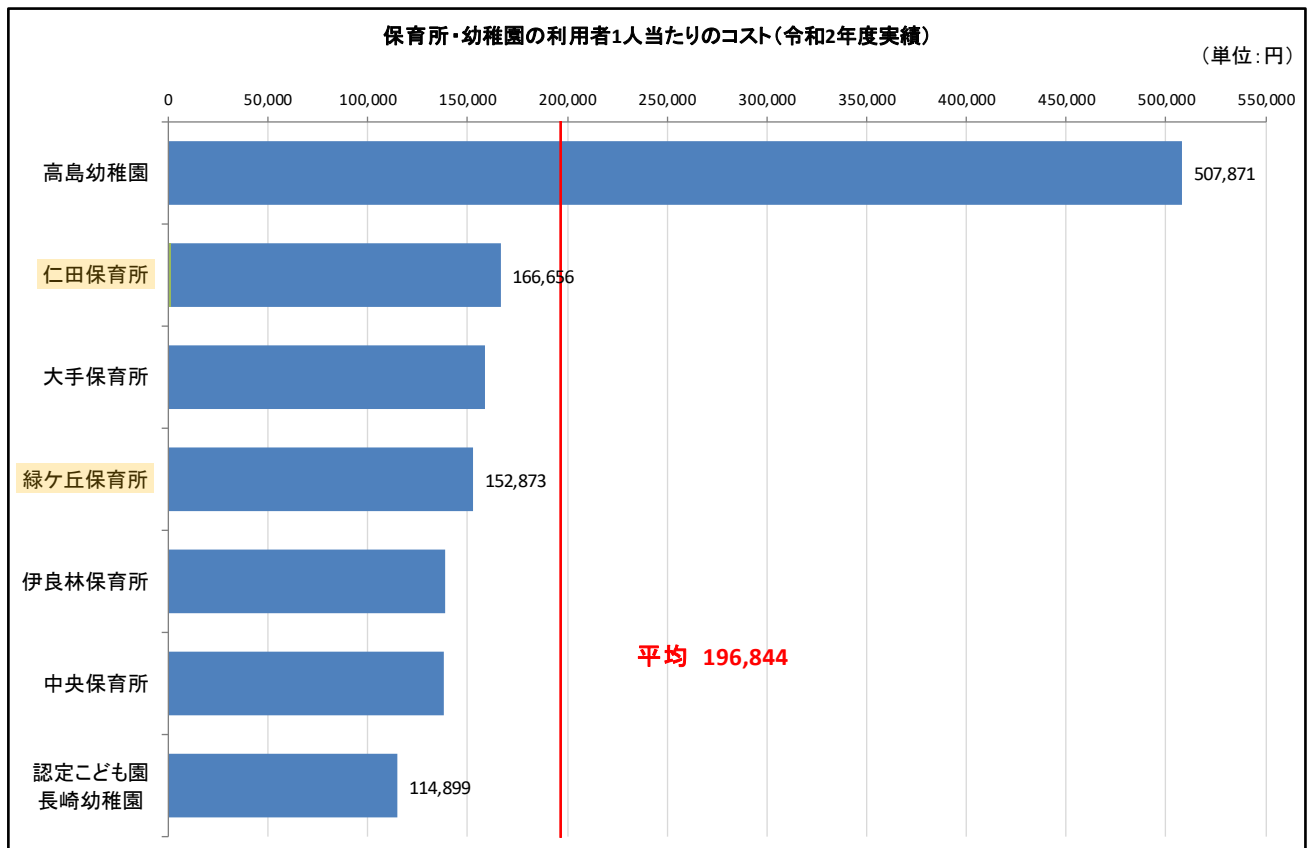
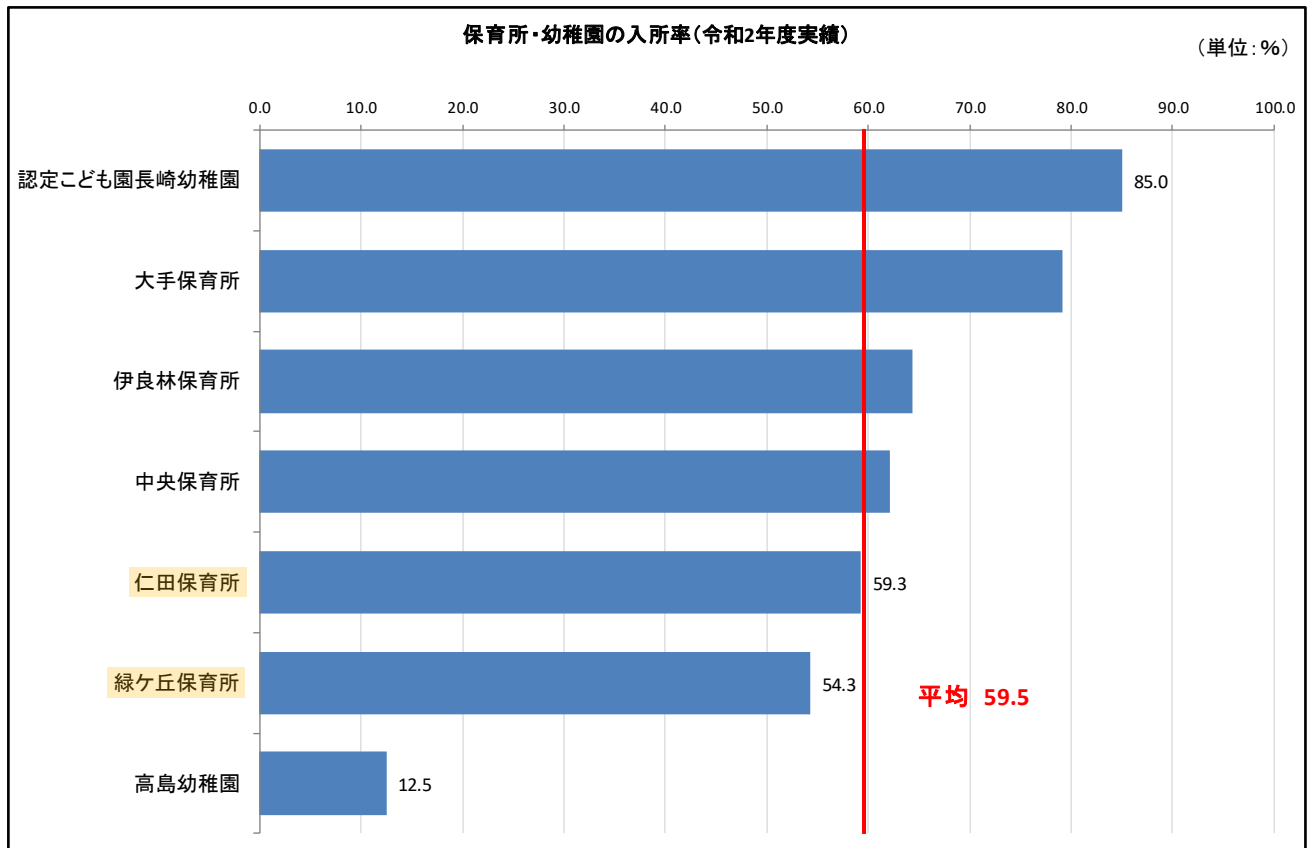
- 定員（90人）に対する入所希望は、他の市立保育所・幼稚園に比べてやや少ない傾向にあります。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 緑ヶ丘保育所及び仁田保育所については、統合して民間移譲し、旧仁田小学校校舎跡地に保育施設を新設することとしています。
- 保育施設の新設は移譲先法人が行います。
- 令和7年4月1日に移譲予定ですが、擁壁調査の関係で遅れる可能性があります。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
緑ヶ丘保育所	→		統合し、民間移譲を行う
仁田保育所			



(2) 都市基盤施設

①市営駐車場（松が枝町駐車場、松が枝町第2駐車場、新地町二輪車等駐車場、東山町二輪車等駐車場、東山町第2二輪車等駐車場）

市営駐車場の 施設配置の 基本的な考え方

市営駐車場は、大型公共施設や観光施設に隣接して適正に配置し、駐車需要を充足させることで、道路交通の円滑化及び安全で快適な都市環境の形成を図ります。

普通車駐車場については、現在、市全体では充足しており、将来的には観光需要によりやや増加が見込まれますが、供給は確保されることから、一般利用者のための市営駐車場の必要性は低くなっていくものと考えます。

しかしながら、公共施設等の利用者の利便性確保のために必要であることや、安定した料金収入も見込まれることから、当面は現施設を維持していくとともに、一部の駐車場については、隣接する公共施設の建替えや更新などの環境変化に対応し、附置義務駐車台数を確保することとしますが、必要性がなくなれば廃止します。

大型バスの駐車場は、観光繁忙期において満車状態であり、今後も観光需要が増加していくと予想されることから、県市で連携して対応していきます。

二輪車等駐車場は、市内中心部において不足しており、今後も同様な状況が継続するものと推測されることから、官民連携して整備を推進していきます。

ア 現状及び課題

松が枝町駐車場



【建築年】1976年

【営業時間】

3/1～7/19、10/10～11/30 7:00～19:00

7/20～10/9 7:00～22:00

(グラバー園の夜間休園日は7:00～19:00)

12/1～2月末 7:30～18:00

【休業日】なし

【年間利用台数】10,187台 ※利用台数は令和2年度実績

【1日当たりの利用台数】32台

【概要】

- 南山手通りオランダ坂入口に位置し南山手周辺の観光などに利用されています。
- 駐車可能台数：普通車40台 バス16台 二輪車5台

【現状及び課題】

- 主にグラバー園などの観光施設利用者のための主要な駐車場です。
- 建築後40年以上が経過し、建物は老朽化しています。

松が枝町第2駐車場



【建築年】1990年

【営業時間】7:00~20:00

【休業日】なし

【年間利用台数】34,960台 ※利用台数は令和2年度実績

【1日当たりの利用台数】96台

【概要】

- 南山手周辺や大浦海岸通りの観光などに利用されています。
- 駐車可能台数：普通車98台 バス11台 二輪車17台

【現状及び課題】

- 主にグラバー園などの観光施設利用者のための主要な駐車場です。

新地町二輪車等駐車場



【年間利用台数】

6,828台

【1日当たりの利用
台数】

19台

東山町二輪車等駐車場



【年間利用台数】

609台

【1日当たりの利用
台数】

2台

東山町第2二輪車等駐車場



【年間利用台数】

652台

【1日当たりの利用
台数】

2台

【二輪車等駐車場の概要】


- 二輪車等の路上駐輪を防止し、道路交通の円滑化を図り、良好な生活環境を確保するために設置されています。

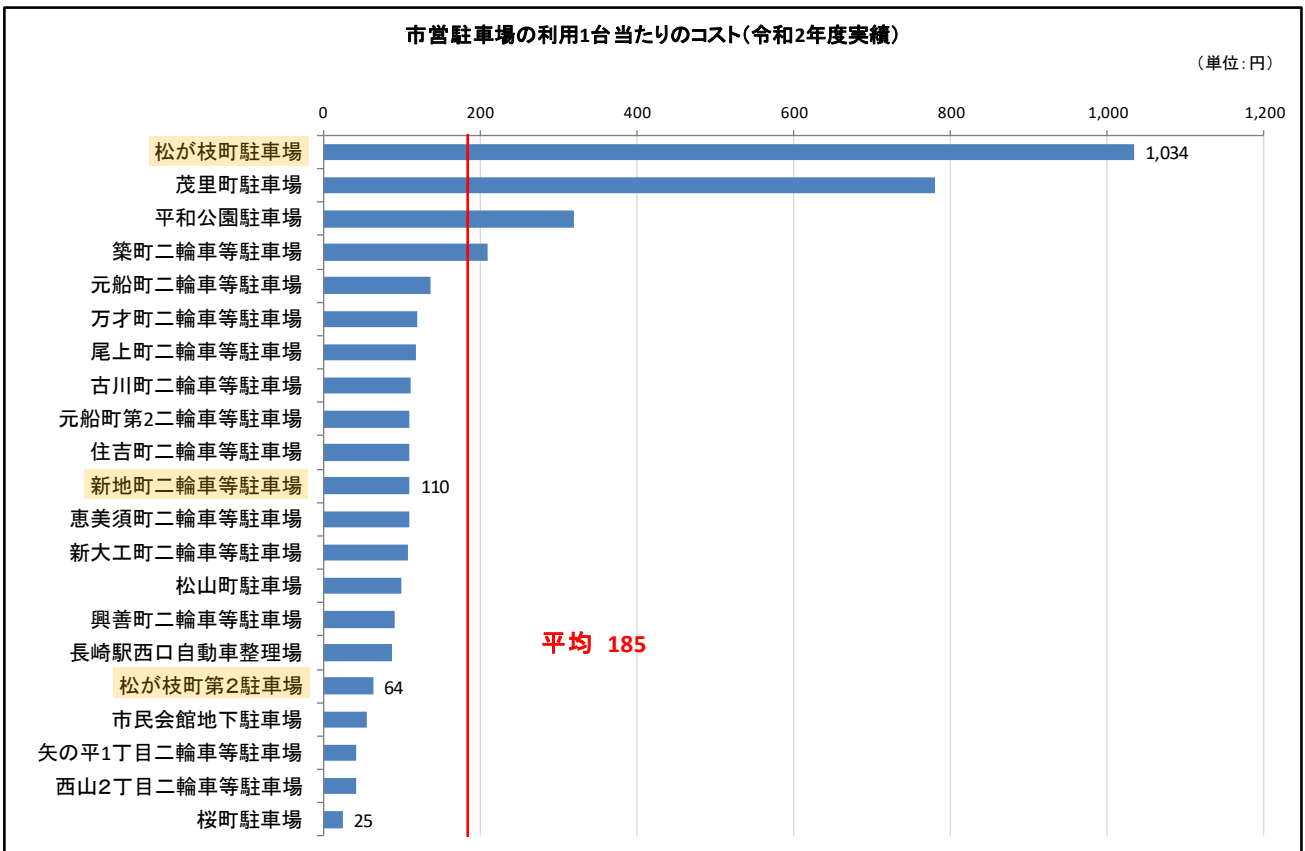
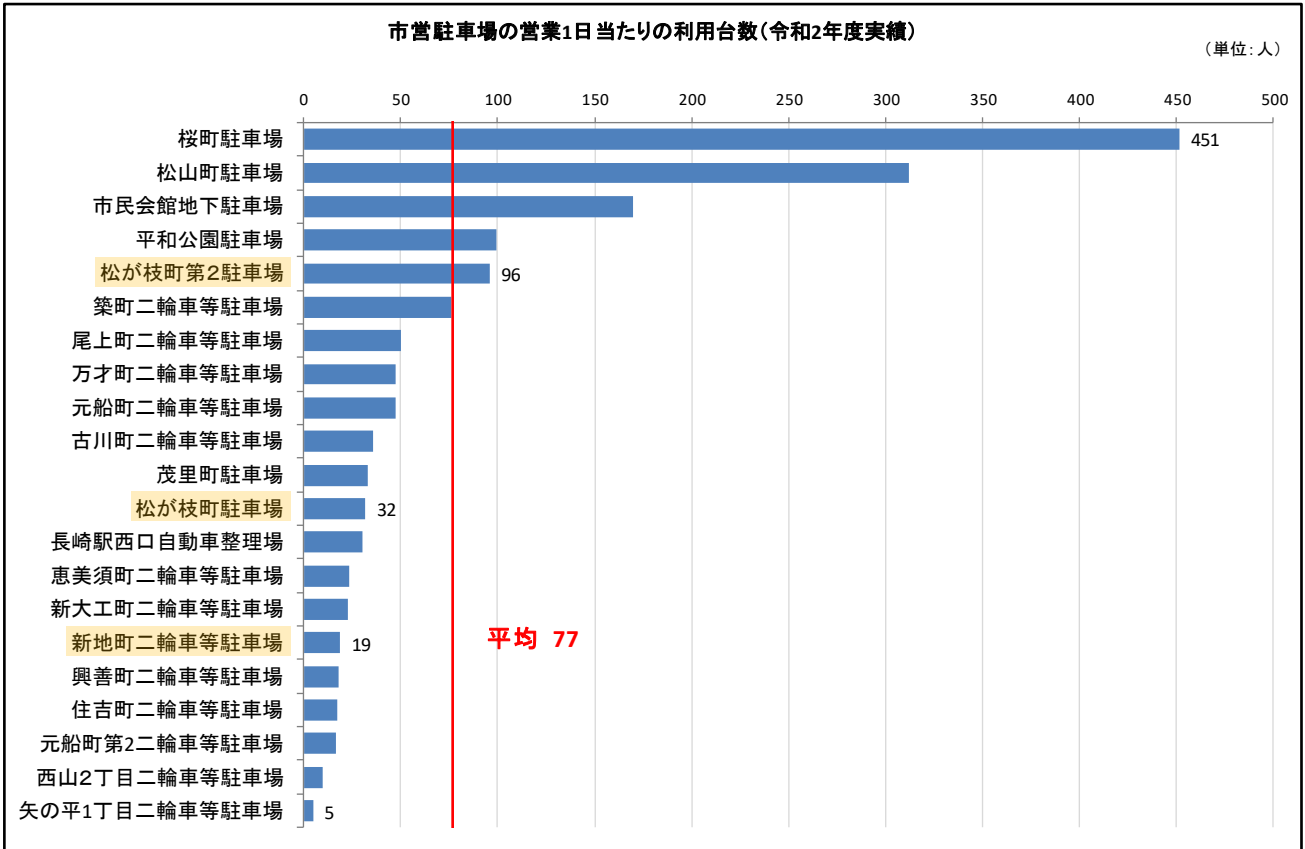
イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 松が枝町駐車場及び松が枝町第2駐車場は、普通車については、観光繁忙期には満車状態ですが、平常時は現状の台数で対応可能であるため、現状のサービスを維持します。大型バスについても、観光繁忙期には満車状態であり、今後も観光需要が増加していくと予想されることから、現施設に加えて、県市連携してバス駐車場の確保に努めていきます。
また、松が枝地区の長崎港湾整備（2バース化）が、今後予定されていますが、これに併せて路面電車の延伸や複線化も検討されており、松が枝町第2駐車場が支障になった場合は、港湾整備（2バース化）の中で駐車場の機能を確保するとともに、既存建物を解体し、平面のバス駐車場を確保するなどの対応を行います。

- 新地町二輪車等駐車場については、周辺道路における二輪車等の路上駐輪の防止、道路交通の円滑化、良好な生活環境の確保のため、今後も現在のサービスを維持し、施設を適正に管理します。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
松が枝町駐車場			適正管理を行う
松が枝町第2駐車場			長崎港湾整備（2バース化）に併せ、施設の見直しを検討する
新地町二輪車等駐車場			適正管理を行う
東山町二輪車等駐車場			
東山町第2二輪車等駐車場			



②市営住宅（十善寺住宅、二本松住宅）

市営住宅の
施設配置の
基本的な考え方

将来の人口及び世帯数の減少により、市営住宅の需要は低下することが予想されますが、少子高齢化の進展や社会的弱者の多様化等の社会情勢の変化を踏まえ、民間賃貸住宅市場において最低居住水準の住居を確保できない低額所得者や、入居制限を受ける可能性がある高齢者や障害者、子育て世帯等の住宅困窮度の高い世帯などの、真に救済すべき世帯の推計を行い、それらを救済するセーフティネットとしての役割を重点的に担えるよう、住宅の確保を支援することで、市民生活の安定を図ります。



配置については、立地適正化計画によるコンパクトなまちづくりを進めていくことを踏まえ、市内各エリアにおける将来人口や特性を十分に勘案し、県営住宅も含めた公営住宅について、需要と供給のバランスが図れるよう、都心周辺部及び地域拠点の市営住宅は、適正な管理戸数を維持します。

その他の地区については、地域コミュニティが維持できるよう住宅需要や民間の動向を踏まえたうえで管理戸数の縮減を行います。

また、島しょ部については、現在行っている集約や用途廃止、除却等を継続し、管理戸数の縮減を推進します。

ア 現状及び課題


※管理戸数は令和3年4月1日現在

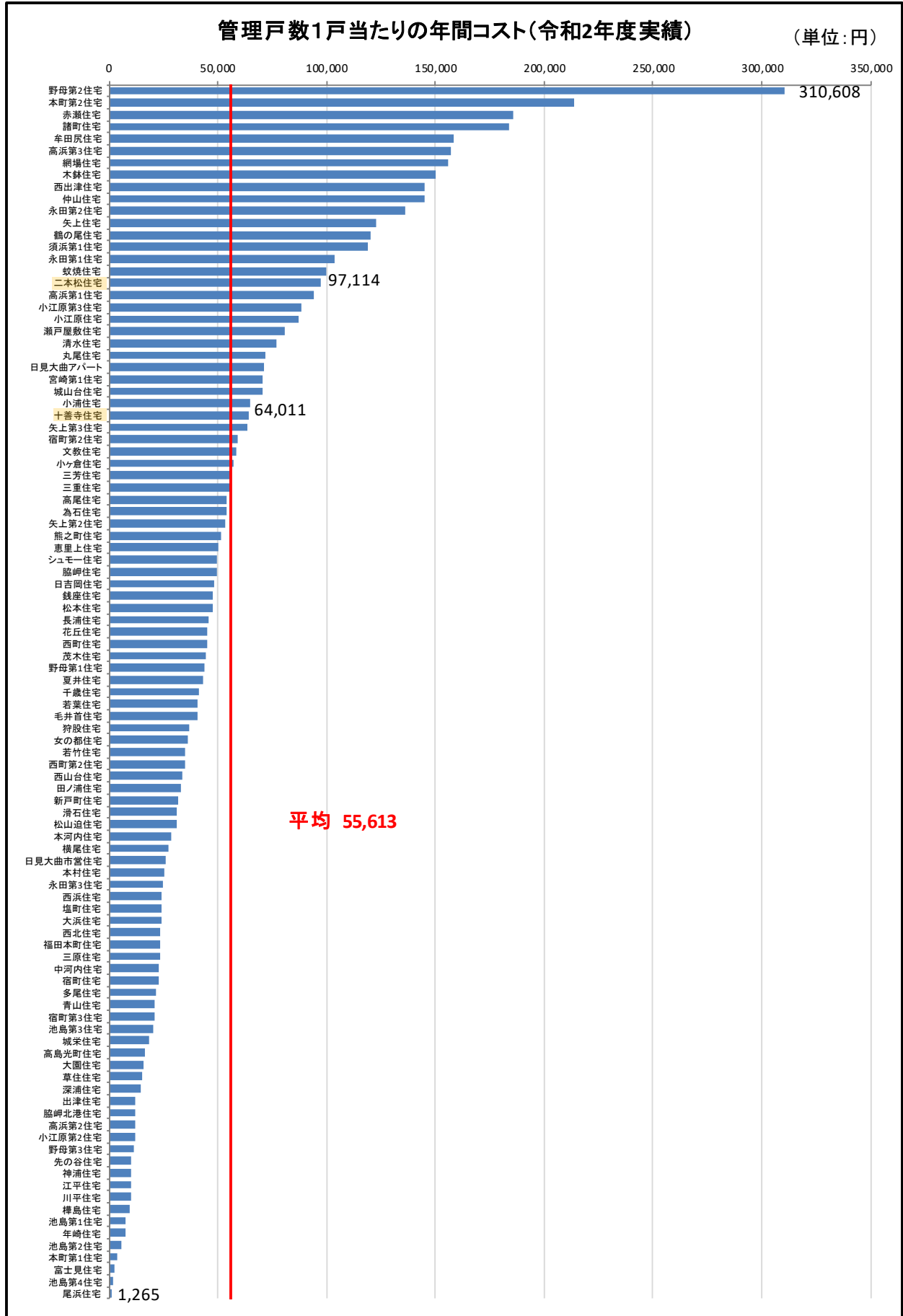
十善寺住宅		二本松住宅	
	【建築年】1998年 【管理戸数】20戸		【建築年】1990年 【管理戸数】239戸
<p>【現状及び課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 十善寺住宅は、住宅内のエレベーターを、地域住民が斜面の移動手段として利用できるように開放しています。 市民対話では、 「市営住宅の空き家を避難所にできないか。」 という意見が出されました。 			

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 十善寺住宅及び二本松住宅については、現在の施設を適正に管理し、建替えなどの際には、人口や住宅需要などを勘案し、適切な規模への見直しを行います。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
十善寺住宅			適正管理を行う
二本松住宅			適正管理を行う 一部用途廃止を検討する



(3) 公用施設

① 消防施設（中央消防署松が枝出張所、中央消防署小島出張所）

消防施設の 施設配置の 基本的な考え方

人口減少が進むなか、消防体制の見直しを図りながら、効率的な適正配置に努め、将来にわたり市民が安全安心に暮らせる行政サービスの提供を行っていきます。

このためには、火災や自然災害等が発生した場合に、各地域での活動が効果的に行える活動拠点が必要となります。

消防施設のうち、常備消防庁舎については、人口分布、主要幹線道路の整備に伴う交通事情の改善や市街地の整備状況等を勘案しながら、市全域において火災・救急需要に適正な対応ができる位置に配置します。

中心市街地においては、木造住宅が密集する地域などに消防隊が迅速に到達できるよう、有効な場所へ拠点となる施設を配置します。その他の地域においては、人口分布や道路の状況を勘案して、当該地域の拠点となる場所に配置します。

また、離島地区については、当分の間は現行体制を維持することとしますが、将来的には消防艇など（救急の24時間対応を含む）の整備を検討し、並行して地域住民や各機関と連携を強化しながら、防火防災体制の充実に取り組みます。

配置数については、市全域において行政サービスを低下させることのないよう施設の移転及び統廃合を行い、重複している活動エリアの解消と、カバーが十分でなかった地域の充実に努めます。

消防団格納庫については、地域の実情に応じて消防団員の活動拠点となる位置に配置します。

ア 現状及び課題

中央消防署松が枝出張所



【建築年】2004年

【開庁時間】24時間

【休日】なし

【概要】

- 消防ポンプ自動車と高規格救急自動車を配備し、地域において消防、救急、救助活動などを行うための拠点となっています。

【現状及び課題】

- 効果的な消防活動を行うため、現在地に設置されています。

中央消防署小島出張所



【建築年】2002年

【開庁時間】24時間

【休日】なし

【概要】

- 消防ポンプ自動車を配備し、地域において消防、救助活動などを行うための拠点となっています。

【現状及び課題】

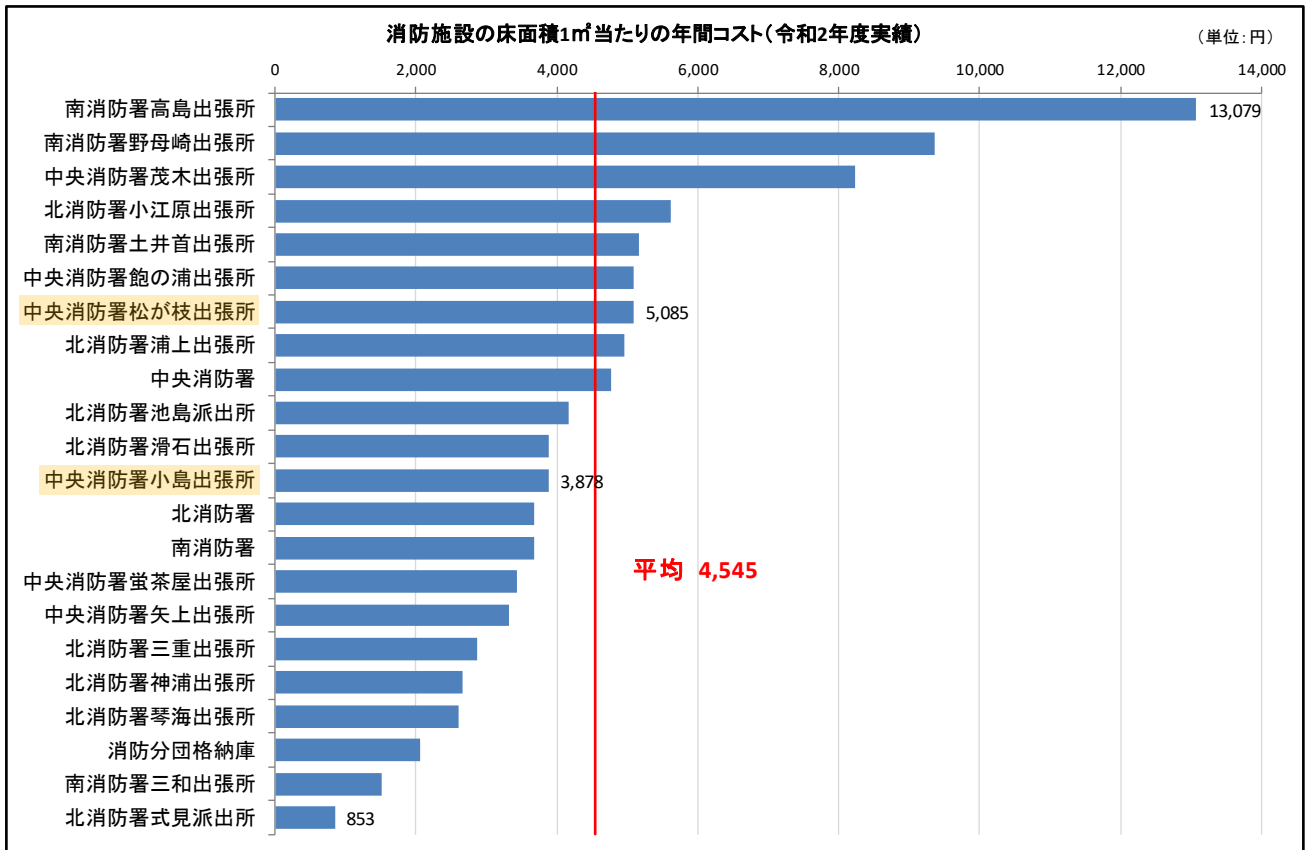
- 効果的な消防活動を行うため、現在地に設置されています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 消防施設については、道路状況や隣接する消防施設の位置などを考慮したうえで、全市的な観点で計画的に配置を行います。
- 中央消防署松が枝出張所は、主要幹線道路の整備状況を見ながら、機能・配置の見直しを行います。
- 中央消防署小島出張所は、現在の施設を引き続き適正に管理します。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
中央消防署松が枝出張所	→		主要幹線道路の整備状況を見ながら、機能・配置の見直しを行う
中央消防署小島出張所			適正管理を行う



②その他事務所（埋蔵文化財整理所）

その他事務所の
施設配置の
基本的な考え方

施設の特異性やサービスの機動性確保のため、分散して配置していますが、より効率的な行政運営を図るために必要な施設配置へ見直します。

また、余剰スペースが生じている施設や、施設の集約化が可能な施設があることから、施設の複合化や統廃合を行うことにより、全体の施設規模の縮小を図ります。

ア 現状及び課題

埋蔵文化財整理所



【建築年】1974年

【概要】

- 新たに建築物などを造る際に実施する埋蔵文化財（遺跡）の発掘調査で出土した遺物、作成した図面や写真を整理し、発掘の記録を保存しています。

【現状及び課題】

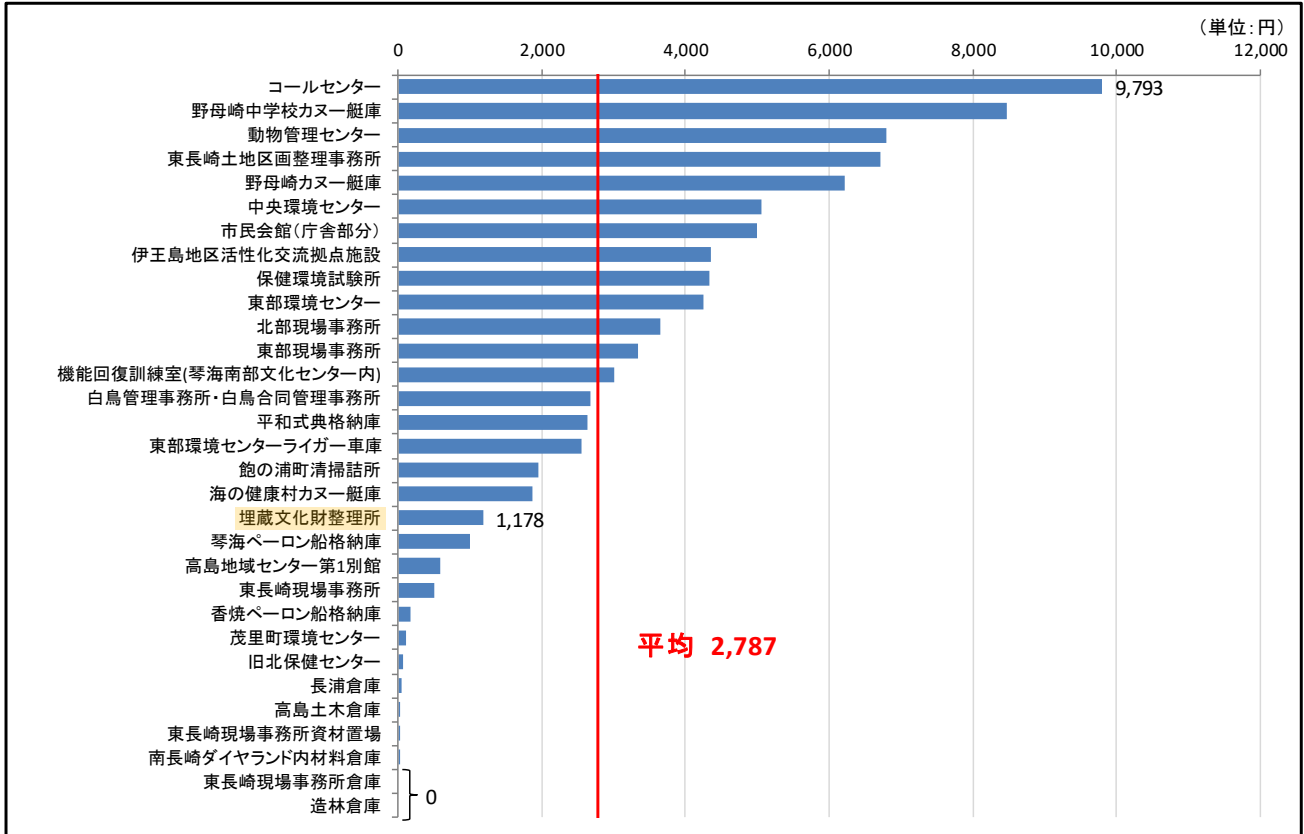
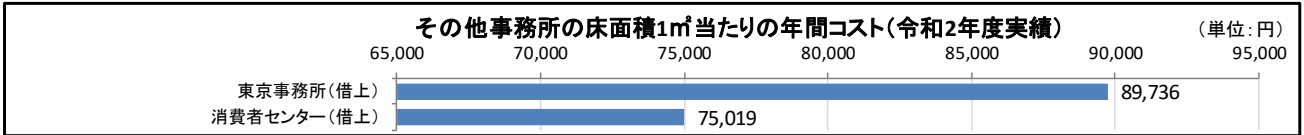
- 市民対話では、
「地域のコミュニティを形成するためには、埋蔵文化財整理所が入っている旧南部環境センターの
ところを中心に整備した方がよいのではないか。」
「南公民館は交通立地が悪く、大浦地区公民館は駐車場がなく狭い。埋蔵文化財整理所があるあたりが、この地区の中心だと思うので、ここを再編すれば、みんなが集まって来れるのでは。」
「建物を建替えて利用できないのか。」
「埋蔵文化財整理所は本当にあそこですべきなのか。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 埋蔵文化財整理所については、適正管理を行います。

ウ ロードマップ

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
埋蔵文化財整理所			適正管理を行う



(4) 公園施設

①公園施設（総合公園、近隣公園、街区公園）

公園施設の
施設配置の
基本的な考え方

公園については、防災・避難等災害に対応できる機能を確保し、バリアフリー化など機能の向上や、複合遊具等を活用した魅力的な子どもの遊び場の創出、地域イベント等の開催が可能な広場等の整備による地域コミュニティの空間の創出、スポーツ施設等の利用環境の充実、健康寿命を延ばす健康づくりのための機能の導入等、多様なニーズに対応した公園づくりを推進します。

また、市内における都市公園の市民1人当たりの標準の敷地面積及び、市街地の都市公園の当該市街地の市民1人当たりの標準の敷地面積はそれぞれ次のとおりとし、都市公園の種類や目的及び誘致距離を勘案し配置の均衡を図ります。

(1人当たりの敷地面積)

- ・本市内の都市公園の市民1人当たりの敷地面積の標準 10 m²以上
- ・市街地の都市公園の当該市街地の市民1人当たりの敷地面積の標準 5 m²以上

(公園種別と標準面積)

公園種別	標準面積
街区公園	0.1ha (1,000 m ²)
近隣公園	2.0ha (20,000 m ²)
地区公園	4.0ha (40,000 m ²)
総合公園	利用目的に応じて適宜
運動公園	利用目的に応じて適宜

(1) 総合公園

都市基幹公園として、都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供するため必要な施設です。また、地区公園の配置を補完する役割も有しています。

(2) 運動公園

都市基幹公園として、都市住民全般の主として運動の用に供するため必要な施設です。スポーツに特化したサービスの拠点として必要です。

(3) 地区公園

住区基幹公園として、主として徒歩圏内に居住する者の利用に供するため必要な施設です。住民のレクリエーション等の拠点として配置します。

(4) 近隣公園

住区基幹公園として、主として近隣に居住する者の利用に供するため必要な施設です。日常における憩いの場や避難場所等防災の拠点として配置します。

(5) 街区公園（遊園を含む）

住区基幹公園として、主として街区内に居住する者の利用に供するため必要な施設です。

将来人口の推移及び立地適正化計画における居住誘導区域を踏まえながら、整備面積・配置・機能が過大である地域においては廃止し、不足している地域においては、統廃合や新設により適切な公園整備を推進します。

ア 現状及び課題

唐八景公園【総合公園】



【開設年】1967年

【敷地面積】87,198 m²

【概要】

- 市内東南部に位置し、名前のおり昔からの景勝地として、また、ハタ揚げの名所として市民に親しまれています。
- 平成6年に高齢者や身障者に配慮したやさしい公園として整備されました。

鍋冠山公園、祝捷山公園、出雲近隣公園【近隣公園】

近隣に居住する住民の日常における憩いの場や避難場所等、防災の拠点として利用されています。

【街区公園（44か所）】


街区内に居住する住民の方に利用されています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 総合公園については、市内10か所配置されており、それぞれの公園において地形や特性を活かし、各公園で機能分担を図りながら住民の総合的な利用に供していることから、小島・大浦・梅香崎地区においても現状の1か所を維持します。
- 近隣公園については、近隣に居住する住民の日常における憩いの場や避難場所等防災の拠点として配置する必要があるため、現状の3か所を維持し、適正に管理します。
- 街区公園については、将来人口の推移を踏まえながら、統廃合や新設により適切な公園整備を推進します。

ウ ロードマップ









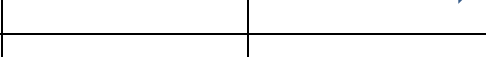
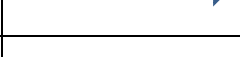
施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
唐八景公園			適正管理を行う
鍋冠山公園			

祝捷山公園			適正管理を行う
出雲近隣公園			
街区公園 44 か所			適正管理を行う 統廃合や新設により適切な公園整備を推進する

6 地区計画のロードマップ（再掲）

地区計画を着実に実施していくため、施設ごとの将来のあり方について、今後の再配置の推進工程（ロードマップ）を示したものです。

再配置の実施時期については、建物の状況（建築年、安全性など）や施設の稼働率、提供している行政サービス、さらには施設が設置された経緯や市の施策との整合性などを考慮し、区分します。

施設名称	今期	次期計画	備考
	～2029	2030以降～	
老人憩の家つばき荘			高齢者専用施設としては廃止し、廃止後の施設のあり方を検討する
大浦児童センター			子ども専用施設としての使い方を見直し、施設のあり方を検討する
緑ヶ丘保育所 仁田保育所			統合し、民間移譲を行う
街区公園 44 か所			適正管理を行う 統廃合や新設により適切な公園整備を推進する
南公民館 大浦地区ふれあいセンター			建替え検討の際に、施設規模や機能の見直しを行う
小島中学校 大浦中学校 梅香崎中学校			適正管理を行う 地域の状況や生徒数の推移を見極めながら、学校規模の適正化と適正配置の協議を行う
元気っ子クラブ さくらんぼクラブ ゆうゆうクラブ			適正管理を行うとともに、学校の適正配置に併せ、事業者にクラブの統合を働きかけていく
松が枝町第2駐車場			長崎港湾整備（2バース化）に併せ、施設の見直しを検討する
中央消防署松が枝出張所			主要幹線道路の整備状況を見ながら、機能・配置の見直しを行う
二本松住宅			適正管理を行う 一部用途廃止を検討する
十善寺地区まちづくり情報センター・ 蔵の資料館 長崎（小島）養生所跡資料館			適正管理を行う

<p>グラバー園 南山手8番館 南山手乙9番館 南山手乙27番館 旧香港上海銀行長崎支店 旧長崎税関下り松派出所 東山手洋風住宅群A～C棟 東山手洋風住宅群D～G棟 東山手十二番館 中の茶屋（清水崑展示館） 旧長崎英国領事館 東山手甲十三番館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉 ミュージアム 天后堂 観音堂 土神堂 旧杠葉本館 旧杠葉氏宅</p>			適正管理を行う
<p>小島地区ふれあいセンター 仁田佐古地区ふれあいセンター</p>			適正管理を行う
<p>小島小学校 愛宕小学校 仁田佐古小学校 大浦小学校</p>			適正管理を行う
<p>梅香崎地区子育て支援センター 「ひなたぼっこ」</p>			適正管理を行う
<p>松が枝町駐車場 新地町二輪車等駐車場 東山町二輪車等駐車場 東山町第2二輪車等駐車場</p>			適正管理を行う
<p>十善寺住宅</p>			適正管理を行う
<p>中央消防署小島出張所</p>			適正管理を行う
<p>埋蔵文化財整理所</p>			適正管理を行う
<p>唐八景公園 鍋冠山公園 祝捷山公園 出雲近隣公園</p>			適正管理を行う

参考 市民対話の実施

人口が減少し少子高齢化が進んでも、長崎が暮らしやすいまちであり続けられるよう、公共施設のあり方・使い方について、地域住民と行政と一緒に考える場として、「市民対話」を実施しました。

将来の長崎市の姿を見据えた行政サービスのあり方と、それを提供する拠点となる公共施設のあり方について、市の基本的な考え方をお話しするとともに、地域に必要な機能（行政サービス）をこれからも維持しながら、地域の賑わいや活力あるまちづくりにつながる施設の集約化、多世代交流の促進を生み出す複合化・多機能化など、公共施設の見直しについてさまざまな意見をいただきました。

小島・大浦・梅香崎地区での市民対話の開催状況は、以下のとおりです。

<第1回>

- (1) 開催日 令和4年7月2日（土）14：00～16：00
- (2) 会場 南公民館 講堂
- (3) 内容
 - 公共施設の現状や見直しの必要性について
 - 公共施設の配置の基本的な考え方について
 - 地区の皆さんでの意見交換・意見の発表
- (4) 参加者数 36人

<第2回>

- (1) 開催日 令和4年8月20日（土）16：00～18：00
- (2) 会場 長崎市男女共同参画推進センター 研修室1・2
- (3) 内容
 - 小島・大浦・梅香崎地区の公共施設の配置の考えについて
 - 第1回でいただいたご意見・ご提案への市の回答
 - 地区の皆さんでの意見交換・意見の発表
- (4) 参加者数 23人

◆小島・大浦・梅香崎地区の市民対話の詳細については、長崎市のホームページでご覧いただけます。

「小島・大浦・梅香崎地区の公共施設の将来のあり方を考える市民対話」

(URL : <https://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/792000/792109/p038472.html>)

長崎市公共施設マネジメント
小島・大浦・梅香崎地区計画

令和5年(2023年)2月
令和5年(2023年)4月改訂
長崎市

【問い合わせ先】

長崎市理財部資産経営室

電話:095-829-1412

FAX:095-829-1248

Email: shisankeiei@city.nagasaki.lg.jp